

「元気な浜田」をつくるための ロードマップ。

令和6年7月

浜田市が目指す将来像

住みたい 住んでよかった 魅力いっぱい 元気な浜田

～豊かな自然、温かい人情、人の絆を大切にするまち～

平成27年12月に「第2次浜田市総合振興計画」を策定し、浜田市が将来像を実現するために、7つのまちづくり大綱を掲げました。

「第2次浜田市総合振興計画」に基づき「元気な浜田」をつくるために、各種施策に取り組んでまいります。

7つのまちづくりの大綱

- I 活力のある産業を育て雇用をつくるまち**
- II 健康でいきいきと暮らせるまち**
- III 夢を持ち郷土を愛する人を育むまち**
- IV 自然環境を守り活かすまち**
- V 生活基盤が整った快適に暮らせるまち**
- VI 安全で安心して暮らせるまち**
- VII 協働による持続可能なまち**

このロードマップにおいて、7つのまちづくり大綱の中でも、特に重点的に取り組む項目や、その他の市政運営に係る重要な事項について、いつ検討し、いつやるのか、という行程を具体的に表しました。

浜田市長 久保田 章市

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【総務部総務課デジタル推進室、総合窓口課】

No.	項目	目的・目標	令和3年度	評価	総合評価	令和4年度	評価	総合評価	令和5年度	評価	総合評価	令和6年度
1	自治体DXの推進	デジタル技術の活用による住民サービスの向上と業務効率化	実施した内容			項目なし			項目なし			項目なし
			項目なし			○オンライン申請の拡充による住民サービスの向上 (1) 令和4年度オンライン申請補助事業に対応したシステム改修 ①子育て関係15手続き ②介護関係11手続き ⇒改修完了予定(R5.3末) (2) びったりサービスの活用によるオンライン申請対応の検討と実施 ①消防(予防)業務オンライン申請 ②既存申請ページの見直し ⇒各所属において見直しを実施 (3) 次年度以降の補助対象となる申請に関するシステム改修準備 ⇒補助対象となる申請に関する情報が国から公表されていない。(R5.3月時点)	○ 					

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

自治体 DXの推 進	デジタル 技術の 活用による住 民サー ビスの 向上と 業務効 率化	実施した内容	項目なし			実施した内容	○ ○ ○	実施した内容	○ ○ ○	計画	○ ○ ○
		項目なし	項目なし			項目なし		項目なし		項目なし	

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【総務部行財政改革推進課】

No.	項目	目的・目標	令和3年度	評価	総合評価	令和4年度	評価	総合評価	令和5年度	評価	総合評価	令和6年度
2	市有財産の活用	遊休財産の処分等による財源確保	実施した内容			実施した内容			実施した内容			計画
			○市有財産売却計画の見直し (1)市有財産売却計画の改訂 ①売却物件の検討、調整(4～7月) ②売却計画改訂版案の作成(6～11月) ③売却計画改訂版の決定、公表(11月)		○	○市有財産売却計画の見直し (1)市有財産売却計画の改訂 ①売却物件の検討、調整(4～7月) ②売却計画改訂版案の作成(6～11月) ③売却計画改訂版の決定、公表(12月)		○	○市有財産売却計画の見直し (1)市有財産売却計画の改訂 ①売却物件の検討、調整(4～7月) ②売却計画改訂版案の作成(6～11月) ③売却計画改訂版の決定、公表(12月)⇒1月公表		○	○市有財産売却計画の見直し (1)市有財産売却計画の改訂 ①売却物件の検討、調整(4～7月) ②売却計画改訂版案の作成(6～11月) ③売却計画改訂版の決定、公表(12月)
			○売却可能物件の処分 ・(1)売却可能物件の公募、売却 ・旧長浜市営住宅跡地(3月売却) ・上神代屋住宅(土地境界等の整理が必要のため延期) ・弥栄町木都賀市有地(10月売却) (2)その他物件の売却 ・貸付中の物件等(随時) ・里道、水路(随時)	○	○	○売却可能物件の処分 ・(1)売却可能物件の公募、売却 ・希望ヶ丘団地市有地 ⇒再度入れ予定 ・和田一般住宅跡地 ⇒3月売却予定 ・重富住宅団地(1区画) ⇒随時募集 ・岡見住宅団地(1区画) ⇒随時募集 (2)その他物件の売却 ・貸付中の物件等(随時) ・里道、水路(随時) (3)子育て支援センター跡地利用(R5年度売却) ①測量登記(9月～11月) ②建物解体(1月～2月) ③活用検討(9月～3月)⇒関係機関と区画等検討中	○	○	○売却可能物件の処分 ・(1)売却可能物件の公募、売却 ・子育て支援センター跡地⇒3月契約済 ・雇用促進住宅 ⇒9月契約済 ・重富住宅団地(1区画) ⇒随時募集 ・岡見住宅団地(1区画) ⇒8月契約済(1区画) (2)その他物件の売却 ・貸付中の物件等(随時) ・里道、水路(随時)	○	○	○売却可能物件の処分 ・(1)売却可能物件の公募、売却 ・原井幼稚園跡地 ・重富住宅団地(1区画) ・岡見住宅団地(1区画) (2)その他物件の売却 ・貸付中の物件等(随時) ・里道、水路(随時)

【総務部防災安全課】

No.	項目	目的・目標	令和3年度	評価	総合評価	令和4年度	評価	総合評価	令和5年度	評価	総合評価	令和6年度	評価	総合評価
3	災害に強いまちづくり	住民の防災意識の向上	実施した内容 ○ハザードマップの周知 (1)津波ハザードマップの周知 ・地震津波に関する周知啓発 ・海抜表示版及び津波避難誘導版の更新準備(次期設置場所と表示内容の検討) ⇒設置現況及び適切な次期設置箇所を精査した。また、ハザードマップと連動した津波危険度及び海抜表示を併記できるよう、表示内容を検討した。 (2)洪水・土砂災害ハザードマップの周知 ・広報はまだによる周知啓発(6月) ・洪水・土砂災害ハザードマップに関するケーブルテレビでの周知啓発(6月) ・出前講座による周知啓発(マイタイムラインの作成) ⇒73回実施(目標70回) 広報はまだ、ケーブルテレビ、出前講座によりハザードマップの使い方を周知した。マイタイムラインの作成方法を周知し、市内の学校等においても、出前講座を行うなど、啓発に努めた。	○	○	実施した内容 様々な媒体を通して、ハザードマップを周知する			案			計画 ○ハザードマップの更新 (1)内容 ・従来別だった津波、水害のハザードマップを合冊 ・浜田市5地域の合冊 ・A4からB4にサイズ拡大 ・イエローゾーンや浸水想定区域の色味を継続 ・マイタイムラインの改善など、学習ページを充実 (2)配布 ・令和7年3月中旬に全戸配布(広報はまだ配布対象者) ・広報はまだ配布対象者全てに配布 ・社会福祉施設、学校、まちづくりセンター等の施設にも配布 ・令和6年度行政連絡員会議にて、協力依頼予定		

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

3	災害に強いまちづくり	地域防災力の向上	実施した内容	○地域防災力の向上 (1)地域防災の啓発 ①全地域での自主防災組織づくり ・自主防災組織がない地域に対する組織化支援(補助事業活用支援及び啓発等) ⇒新たに9団体が組織化したものの、コロナ禍により町内会の合意形成が進まず、 目標未達 ・既設自主防災組織の強化(防災士養成支援) ⇒防災士と連携して訓練を実施するなど、既存組織強化に取り組んだ。 ②避難先、訓練方法等の検討 ・自主防災組織の訓練方法や避難経路など防災活動に係る指導・助言	△	○	○	○	○	○	○	計画	○自主防災組織の組織率の向上と活動強化及び地域防災力の向上 (1)自主防災組織の組織率の向上 ・自主防災組織がない地域への組織化の働きかけ ・防災出前講座による啓発 ・職員による指導・助言 ・補助事業の活用 (2)自主防災組織の活動強化 ・避難先、訓練方法等の指導助言 ・防災士養成支援 ・防災出前講座、外部講師による研修による啓発 ・津波避難訓練 11月実施予定 (3)市民参加型の総合防災訓練の実施による地域防災力の向上 ・令和6年6月2日(日)実施 ・市民への訓練内容説明 ・防災情報伝達訓練 ・避難行動訓練 ・状況等の報告訓練 (4)防災チェック週間実施 9月1日 防災の日に併せ、9月1日～7日を設定 消防、水道を含めた横断的な防災チェックリストを作成 「扉を開けて」8月放送、広報はまだ9月号等により周知														
				○自主防災組織の組織率の向上と活動強化及び地域防災力の向上 (1)自主防災組織の組織率の向上 ⇒新たに9団体が組織化した、組織率の数値目標は未達(77%目標に対し73.7%) (2)自主防災組織の活動強化 ⇒・自主防災組織及び町内会等の防災意識向上を図るため、総合防災訓練、津波避難訓練、防災出前講座、外部講師による研修を実施 ・「親子で防災」等のイベントにより、従来よりも幅広い層が防災活動に参画 ・島根県の事業を活用し、9名の防災士を養成(津波避難訓練参加者 1,694人) (3)市民参加型の総合防災訓練の実施による地域防災力の向上 ⇒地域防災力の向上を図るため、防災情報伝達訓練、避難行動訓練、状況等の報告訓練など住民参加型の防災訓練を実施(総合防災訓練参加者 7,049人)	△	○	○	○	○	○	○	○	○周布川近隣の避難体制の検討 (1)地域住民が避難行動を起こすための体制づくり ⇒最も早く浸水が想定される地域において、自主防災組織設立(令和5年4月設立予定) (2)避難所の検討 ⇒・一時避難所の協定締結 ・周布川西側の防災拠点について、整備方針決定(令和6年度出水期までに整備) (3)治水対策の実施(県への要望等) ・堤防の低い箇所の嵩上げを要望 ・地域に応じた水位情報設定の検討 令和4年度出水期までに設定を完了し、地元住民に説明実施 ・河川カメラの増設(令和5年度出水期までに完了予定) (4)周布橋の建設 ・設計(3月完了) ・被災橋撤去(橋脚、桁撤去 3月完了)	○	○	○	○	○	○	○	○	○周布川近隣の避難体制の検討 (1)地域住民が避難行動を起こすための体制づくり ・防災情報取得手段の啓発 ・正しい避難先・避難方法の選定支援 ・自主防災組織設立・強化支援 ⇒自主防災組織の活動支援 周布川西防災センターを前提とした避難行動の検討 (2)周布川西側の防災拠点整備 外構、建築設計施工一括発注 工期 令和5年度中 ⇒令和5年度中に完成 周布川西防災センター開所式(令和6年4月26日) (3)治水対策の実施(県への要望等) ・堤防の低い箇所の嵩上げ ・河川カメラの増設完了(令和5年6月1日より公開開始)	○	○	○	○	○

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

3	災害に強いまちづくり	次期防災情報システムの導入(防災無線の更新)	実施した内容	項目なし		実施した内容	項目なし		実施した内容	○次期防災情報システムの導入 (1)基本方針(令和5年度) ・基本方針作成 ・浜田市議会(9月、11月)、市民に方針説明(10月、11月) ・関係機関との調整 ⇒基本方針を作成し、議会及び地域協議会に理解を得た (2)設計・施工(令和6年度以降予定) ・実施設計業務委託 1月25日 開札 ・浜田市議会、市民に方針説明 ・関係機関との調整 ⇒実施設計委託契約(R6.2) ・3月末から実地調査開始 広報紙、ケーブルテレビ、防災無線、防災メール等により周知	○	○	○	計画	○次期防災情報システムの導入 (1)設計 ・実施設計業務 3月下旬から実施中、9月中に完了予定 ・浜田市議会、市民に方針説明 ・関係機関との調整 (2)施工 ・実施設計業務の結果を踏まえ、予算要求予定
---	------------	------------------------	--------	------	--	--------	------	--	--------	---	---	---	---	----	--

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

〔地域政策部定住関係人口推進課・産業経済部ふるさと寄附推進室・産業経済部農林振興課・教育部教育総務課・教育部スポーツ振興課・弥栄支所産業建設課・金城支所産業建設課〕

No.	項目	目的・目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度					
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価				
4	地域おこし協力隊による若者の移住促進	地域おこし協力隊制度を活用し、若者を市外から受入れ、地域活性化に繋げる	実施した内容	項目なし	実施した内容	項目なし	実施した内容	○地域おこし協力隊受け入れ状況 令和5年度 当初3名、年度末8名 【地域おこし協力隊制度を活用した若者の移住促進】 (1) 定住関係人口推進課・・・募集中止 ①地域おこし協力隊サポート業務 ・募集準備(4月) ・1名募集(5月～) ・市内で活動している隊員の連絡調整、連携支援及び隊員の情報発信業務 ②ベルガロッソいわみの選手兼担い手・・・採用決定 ・募集準備(4月～8月) ・3名募集(2月～) ・2名採用(3月1日委嘱) ・市内の働き手不足職場で働きながら、ベルガロッソいわみの選手として活動 (2) ふるさと寄附推進室・・・募集中止 ①ふるさと寄附関係業務 ・募集準備、受付開始(4月) ・1名募集(5月～) ・ふるさと寄附のPR業務 ⇒募集中止(国の募集適正基準変更による) (3) 農林振興課・・・採用決定 ①農村型地域運営組織(農村RMO)関係業務 ・1名募集(5月) ・1名採用(8月1日委嘱) ・農用地保全、農業振興などの地域コミュニティ活動に取り組む地域運営の支援を実施 (4) 教育総務課・・・採用決定 ①郷土資料等整理業務 ・2名募集(4月～) ・2名採用(8月1日委嘱、9月1日委嘱) ・浜田市の郷土資料を整理し、データベース化などの業務 (5) 文化スポーツ課・・・募集中止 ①体育協会運営業務 ・1名募集(4月～) ・体育協会において、スポーツ振興や、中学校部活動の地域移行に関する業務 (6) 弥栄支所産業建設課・・・採用決定⇒退職 ①弥栄地域特定地域づくり事業協同組合設立準備業務 ・1名募集(7月～) ・1名採用(8月1日委嘱) ・弥栄地域における担い手の確保に向けた「特定地域づくり事業協同組合」の設置・運営業務 ・R5.12.31退職	△	×	○	○	×	△
				計画		○地域おこし協力隊受け入れ状況 令和6年度 当初8名 (いわみ留学受入事業を除く、本市の協力隊員数) 【地域おこし協力隊制度を活用した若者の移住促進】 (1) 定住関係人口推進課 ①地域おこし協力隊サポート業務・・・募集中 ・1名募集(3月～) ・市内で活動している隊員の連絡調整、連携支援及び隊員の情報発信業務 ②スポーツ選手による地域振興事業・・・活動中 ・2名(令和6年3月1日委嘱) ・市民の健康増進に向けた活動や市内の働き手不足職場で働きながら、ベルガロッソいわみの選手として活動 (2) 農林振興課 ①農村型地域運営組織(農村RMO)関係業務・・・活動中 ・1名(令和5年8月1日委嘱) ・空き家の利活用、農業振興などの地域コミュニティ活動に取り組む地域運営の支援を実施 ②有機農業研修生【新規】・・・募集中 ・3名募集(3月～) ・有機農業の自営就農を目指し、市内の先進的な生産者のもとで研修を受講 (3) 教育総務課 ①郷土資料等整理業務・・・活動中 ・2名(令和5年8月1日委嘱、9月1日委嘱) ・浜田市の郷土資料を整理し、データベース化などの業務 (4) スポーツ振興課 ①体育協会運営業務・・・募集中 ・1名募集(4月～) ・体育協会において、スポーツ振興や、中学校部活動の地域移行に関する業務 (5) 弥栄支所産業建設課 ①弥栄地域特定地域づくり事業協同組合設立準備業務・・・募集中 ・1名募集(3月～) ・弥栄地域における担い手の確保に向けた「特定地域づくり事業協同組合」の設置・運営業務 ②いわみ留学受入事業【新規】・・・募集中 ・いわみ体験(2週間～3か月) 8名募集(6月～) ・いわみ留学(1年) 1名募集(6月～) ・仕事体験を行いながら地域活動に参加 (6) 金城支所産業建設課 ①ゆめのねむら都市農村交流推進協議会事業【新規】・・・募集中 ・1名募集(4月～) ・団体の法人化に向けた取組や、農泊、田舎ツーリズムの推進に係る業務								

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

地域おこし協力隊による若者の移住促進	地域おこし協力隊制度を活用し、若者を市外から受入れ、地域活性化に繋げる	実施した内容	項目なし			実施した内容	項目なし			実施した内容	【その他事業】 ①音楽を核とした定住促進事業 (定住関係人口推進課) ・1名(令和5年4月1日委嘱) ②後継者等人材育成支援事業(商工労働課) ・2名(令和4年6月1日委嘱、令和5年4月1日委嘱) 地域おこし協力隊活動報告会:R6.3.15(金)実施 地域おこし協力隊6名、地域おこし協力隊OB1名			計画	【その他事業】 ①音楽を核とした定住促進事業 (定住関係人口推進課) ・1名(令和5年4月1日委嘱) ②後継者等人材育成支援事業(商工労働課) ・2名(令和4年6月1日委嘱、令和5年4月1日委嘱)

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【地域政策部定住関係人口推進課】

No.	項目	目的・目標	令和3年度	評価	総合評価	令和4年度	評価	総合評価	令和5年度	評価	総合評価	令和6年度
5	関係人口創出拡大	「関係人口」の力を地域に活かし、将来的な移住定住に繋げる	○「関係人口」と継続的に関わる仕組みづくり (1) 浜っ子LINEクラブによる情報提供 ・LINEによる情報発信(毎月) 【目標:開封率:75%】 - 情報発信件数:16件 - 総発信数:4,850人 開封数:3,381人 - 開封率:70% - 登録会員数:454名(3月現在) (昨年度275名) ・成人式にて新規会員獲得(1月) ⇒令和3年成人式にて案内(56名増加) ・市内高校・県立大学・リハカレ等の卒業式で新規会員獲得(3月) ⇒各学校と連携しチラシを配布(2月) (2) 浜田応援団の活用 ・広報、市ホームページ、チラシなど各種媒体を使った周知 ・団員決定・リスト化【目標:150名】 136名登録(3月現在) ※13名増加 ・オンラインカフェ - 第1回 8名参加(6月4日) - 第2回 8名参加(7月30日) - 第3回 9名参加(3月25日) ・浜田応援団関東支部創設会(12月16日) 16名参加(現地:12名、オンライン:4名) ○地域課題とのマッチングの仕組みづくり (1) 組織体制の検討 ・市人会との連携 ・庁内組織(支所、関係課)との連携 (2) 地域課題の整理 ・地域・企業課題の収集【目標:20件】 6件(3月現在) ・団員リストとのマッチング【目標:8事例】 12事例(3月現在) (3) 中間支援組織の導入による組織強化 ・関係人口創出・拡大のための中間支援モデル事業 ※オンラインで実施 ①オンライン事前ワークショップ 3名参加(9月30日) ②オンラインツアー 7名参加(10月2日) (4) 市民向けセミナー(3月⇒次年度に延期)	○	○	○関係人口との協働の推進 (1) 浜っ子LINEクラブによる情報提供 ・LINEによる情報発信(毎月) 【目標:開封率:75%】 - 情報発信件数:11件 - 総発信数:4,432人 開封数:2,769人 - 開封率:63% - 登録会員数:555名(3月現在) 18名増 ・二十歳の集いにて新規会員獲得(10月・1月) ・市内高校・県立大学・リハカレ等の卒業式で新規会員獲得(3月) (2) 浜田応援団の活用 ・広報、市ホームページ、チラシなど各種媒体を使った周知 ・団員決定・リスト化【目標:130名】 151名登録(3月現在) ・オンラインカフェ開催【目標:6回】 - 第4回 10名参加(5月24日) - 第5回 14名参加(7月25日) - 第6回 12名参加(9月23日) - 第7回 7名参加(11月17日) - 第8回 23名参加(1月31日) - 第9回 10名参加(3月16日) ・地域・企業課題の収集【目標:10件】 ・団員リストとのマッチング【目標:8事例】 18事例(3月現在) (3) その他関係団体との連携等 ・市人会との連携 ・ひろしまはまだ会秋の例会(11月25日) ・庁内組織(支所、関係課)との連携 ・市民向けセミナーの開催(6月) 96名参加(6月26日) ・スタディツアー実施(12月3日～4日) - のべ7名参加	△	○	○関係人口との協働の推進 (1) 浜っ子LINEクラブによる情報提供 ・LINEによる情報発信(毎月) 【目標:開封率:75%】 - 登録者数676人(配信可能520人) - 情報発信件数:34件(3月末現在) - 総発信数:15,464人 開封数:7,586人 - 開封率:49.0% ・二十歳の集いにて新規会員獲得(1月) ・市内高校・県立大学・リハカレ等の卒業式で新規会員獲得(2～3月) (2) 浜田応援団の活用 ・広報、市ホームページ、チラシなど各種媒体を使った周知 ・団員決定・リスト化【目標:170名】 - 登録団員数:173人 ・オンラインカフェ開催【目標:6回】 - 第10回 12名参加(6月2日) - 第11回 4名参加(10月15日) - 第12回 8名参加(1月10日) ・地域・企業課題の収集【目標:10件】 ・団員リストとのマッチング【目標:12事例】 15事例(3月末現在) (3) その他関係団体との連携等 ・市人会との連携 ・ひろしまはまだ会総会(6/23) ・ひろしまはまだ会秋の例会(11/17) ・関西浜田会総会(7/9) ・ふるさとはまだの集い(3/2) ・広島金城会総会(4/7) ・近畿あさひ会総会(11/24) ・近畿弥栄会総会(10/29) ・近畿三陽会総会(10/28) ・スタディツアー実施(2月25日)1名参加	○	△	○関係人口との協働の推進 (1) 浜っ子LINEクラブによる情報提供 ・LINEによる情報発信(毎月) 【目標:開封率:75%】 - 登録者数:692人(配信可能556人) - 情報発信件数:8件(5月末現在) - 総発信数:4,197人 開封数:2,691人 - 開封率:64.1% (2) 浜田応援団の活用 ・広報、市ホームページ、チラシなど各種媒体を使った周知 ・団員決定・リスト化【目標:180名】 - 登録団員数:153人 ・オンラインカフェ開催【目標:6回】 ・地域・企業課題の収集【目標:10件】 ・団員リストとのマッチング【目標:12事例】 1事例(4月末現在) (3) その他関係団体との連携等 ・出身者会との連携 - ひろしまはまだ会総会(5/17) ・庁内組織(支所、関係課)との連携 ・スタディツアー実施

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	令和3年度	評価	総合評価	令和4年度	評価	総合評価	令和5年度	評価	総合評価	令和6年度
6	移住定住情報サイト作成	移住検討者向けのQ&A等を作成し、移住の促進を図る	実施した内容 ○移住定住情報サイトの作成 (1)情報サイト作成に向けた準備 ・情報を収集、市HPの構成検討(4～5月) ・移住者インタビューや座談会等の開催、市HP掲載や冊子作成(5月～9月) ・プロポーザル実施、契約(5～8月) ・掲載作業(9～1月) ・移住定住情報サイト公開(令和4年2月1日)		○	実施した内容 サイト運用			実施した内容 サイト運用			
7	定住推進の取組	「はまだぐらし」を活用した移住・定住希望者の受入サポートの仕組みづくり	実施した内容 項目なし			実施した内容 ○移住・定住希望者の受入サポートの仕組みづくり (1)移住者インタビュー及びQ&A等の更新 ・情報収集、インタビュー者等選定(4～5月) ・インタビュー、記事作成、サイト掲載(通年) (2)定住サポーターの制度づくり ・定住サポーター制度の検討(4～6月) ・要綱等作成、サイト改修等(7～10月) ・運用開始(11月) はまだぐらしサポーター13名(3月31日現在)	○	○	実施した内容 移住・定住希望者の受入サポート実施			
8	浜田市まちなか交流プラザの整備及び運営について	浜田市まちなか交流プラザを、交流拠点として活用する	実施した内容 項目なし			実施した内容 項目なし			実施した内容 ○施設整備 7月30日(日)オープン 来場者88人 ○施設活用 大学生などの若者から高齢者まで世代を超えた多様な市民の交流の場として活用する。 7/31～3/31の施設利用者数 交流スペース:26.5人/日 セミナールーム:195回 計2,411人 年間想定数 セミナールーム 234回3,000人 交流スペース 8,500人 ※令和5年度は、8か月間開設		○	計画 施設活用

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【地域政策部まちづくり社会教育課、健康福祉部地域福祉課】

No.	項目	目的・目標	令和3年度		評価	総合評価	令和4年度		評価	総合評価	令和5年度		評価	総合評価	令和6年度	
9	敬老福祉乗車券制度の推進	敬老福祉乗車券の制度周知及び利用促進	実施した内容	○敬老福祉乗車券制度の見直し (1)制度の再構築に向けた協議(4～9月) ①福祉分(障がい者)と公共交通施策(高齢者)それぞれの実績に基づく実態把握 ②上記①の実態把握を踏まえ、交通弱者などに配慮した制度への再構築を検討 ⇒令和4年度から障がい者無料交付に加え、対象者への販売も開始	○	○	実施した内容	令和3年度に見直した制度に基づき事業実施		実施した内容	○敬老福祉乗車券制度の見直し (1)制度の再構築に向けた協議(4～9月) ①公共交通施策(高齢者)と福祉分(障がい者)それぞれの実績に基づく実態把握 ②上記①の実態把握を踏まえ、交通弱者などに配慮した制度への再構築を検討	○	○	計画	令和5年度に見直した制度に基づき事業実施	
				(2)再構築制度の周知(1～3月) ⇒広報はまだ・ホームページ、チラシ・ポスターで周知(3月)	○			(2)再構築制度の周知(1～3月) ⇒広報はまだ・ホームページ、チラシ・ポスターで周知(3月)	○							

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【地域政策部まちづくり社会教育課】

No.	項目	目的・目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
10	公共交通の再編	より使い易い地域公共交通体系への再編	実施した内容	△	実施した内容	△	実施した内容	△	計画	○
			○公共交通の再編 (1)公共交通ネットワークの再構築 ①タクシーを活用したドアツドア型の新たな交通手段の検討 ・地域住民及び事業者との意見交換 ・事業開始(年度中)に向けた検討 ⇒あいのりタクシー等運行支援事業開始(10月～) (2)1日乗車券の販売開始(10月～) ①石見交通との協議 ・利用可能区間の設定及び料金の決定 ②住民及び観光客への周知 ⇒販売開始セレモニー開催(10月) ホームページ、ポスター・チラシ、バス車内掲示等による周知 ③周遊プランの検討及び周知 ・県立大学との共同研究でモデルコース等を検討 ・チラシ等を作成して周知 ⇒パンフレットの作成(3月)		○公共交通ネットワークの再構築 (1)市生活路線バス及び予約型乗合タクシーの運行見直しに向けた検討 ・高齢者等への意見聴取 ・見直し検討 ⇒県立大学との共同研究による高齢者等へのアンケート実施(10～12月) ⇒地区まちづくり推進委員会意見聴取(1団体、1月) (2)あいのりタクシー等運行支援事業の利用促進 ・地区まちづくり推進委員会への支援(通年) ⇒中山間地域調査研究事業の先進事例視察研修の実施(1月、3月) ・県立大学との共同研究による課題抽出、対応検討(6～3月) (3)1日バス乗車券の利用促進 ・広報はまだへの掲載(5月) ・ケーブルテレビによる周知 ⇒探偵社ふらり(5月)、浜っ子タイムズ(8月) ・ポスター、チラシ掲示依頼(5月)、リーフレット配布 ・販売場所の拡充 ⇒はまだお魚市場、世界こども美術館(10/1～)		○公共交通の再編 (1)公共交通法定計画の策定及び交通施策の総合的な見直し ①現状分析、ニーズ・地域課題の抽出 ・高齢者等へのアンケート調査、ヒアリング等の実施(9～10月) ②交通施策の見直し ・市生活路線バス・市予約型乗合タクシーの契約更新(令和6年度)に併せた交通手段の見直し検討(10～11月) ③公共交通法定計画の策定 ・法定協議会の設置及び計画の協議(年4回開催:7月、10月、12月、2月) ・交通施策の見直しを計画へ反映 ・パブリックコメントの実施(12～1月) ・計画書の策定(3月) ④法定計画に基づく交通施策の予算確保 (2)あいのりタクシー等運行支援事業の利用促進 ・実施団体へのフォローアップ ・未実施団体への導入支援 ・利用しやすい制度への見直し検討		○公共交通計画に基づく事業実施 (1)公共交通事業の実施 ①公共交通の維持 ・補助事業の実施 ・路線維持に向けた取組(乗務員確保等) ②公共交通の利用促進 ・広報、イベント等による周知 ③公共交通活性化協議会の開催(年3回:7月、11月、2月) (2)あいのりタクシー等運行支援事業の利用促進 ・実施団体へのフォローアップ ・未実施団体への導入支援	

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【地域政策部まちづくり社会教育課】

No.	項目	目的・目標	令和3年度	評価	総合評価	令和4年度	評価	総合評価	令和5年度	評価	総合評価	令和6年度
11	協働のまちづくりの評価・検証	協働のまちづくりの推進	実施した内容	項目なし		実施した内容			○協働のまちづくりの評価・検証 (1)協働のまちづくり推進計画の評価・検証 ①協働のまちづくり推進計画の進捗管理 ・計画取組項目の実績とりまとめ(7月) ・協働推進本部での自己点検、検証(7月、8月) ・協働のまちづくり検討部会での評価、検証(8月) ②意識調査の実施 ・市民等意識調査の実施(7月) ・職員意識調査の実施(2月)	○	○	○協働のまちづくりの評価・検証 (1)協働のまちづくり推進計画の評価・検証 ①協働のまちづくり推進計画の進捗管理 ・計画取組項目の実績とりまとめ(7月) ・協働推進本部での自己点検、検証(7月、8月) ・協働のまちづくり検討部会での評価、検証(8月) ②意識調査の実施 ・市民等意識調査の実施(7月) ・職員意識調査の実施 ・職員研修の実施
									(2)まちづくりセンターの評価・検証 ①まちづくりセンター利用者及び市民アンケート調査の実施(7月) ②まちづくりセンターへのヒアリング・視察の実施(8月21日) ③評価検証結果報告書(令和6年度)の作成(10月～) ・素案作成、意見交換(11月20日) ・修正案作成、意見交換(2月7日) ・最終案作成(3月) 【参考 令和6年度以降】 ・評価検証結果報告書完成、市へ提出(6～7月) ・市の方針を検討(7月～) ※方針検討にあたっては、議会協働のまちづくり推進特別委員会の提言等を参考とする。	○	○	(2)まちづくりセンターの評価・検証 ①評価検証報告書等による市の方向性検討(4月～) 協働推進本部において検討を行う。 ②サマーレビュー・令和7年度当初予算要求 (3)地区サポーターの活用 ・任用 6人(4月任用:5人、6月任用:1人) ・研修会・意見交換会実施(5月22日) ・次年度方針検討

【地域政策部まちづくり社会教育課】

No.	項目	目的・目標	令和3年度	評価	総合評価	令和4年度	評価	総合評価	令和5年度	評価	総合評価	令和6年度
12	石見まちづくりセンター(仮称)長沢サブセンター整備について	石見まちづくりセンター(仮称)長沢サブセンターの整備(令和7年度中の供用開始)	項目なし			項目なし			○石見まちづくりセンター(仮称)長沢サブセンターの整備 (1)施設整備計画検討 ・パブリックコメント実施(～4月) (意見提出:1名16件) ・地元等協議(～6月) ・施設整備計画策定(6月) ・議会方針説明(6月) (2)施設整備 ・令和5年度6月補正予算案上程(6月) ・用地取得及び補償協議(7月～) ・実施設計業務委託(7月～) ・建物設計業務委託契約締結(8月) ・土地売買及び補償費契約締結(2月) ・地元等協議(随時)	○		○石見まちづくりセンター(仮称)長沢サブセンターの整備 ・実施設計(～3月) ・施設用地所有権移転(～9月) ・擁壁等工事(～3月) ・地元等協議(随時)
			実施した内容			実施した内容			○	○	計画	

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【健康福祉部健康医療対策課】

項目		目的・目標		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
13	まちをあげた市民の健康づくり	健康なコミュニティの仕組みづくり	実施した内容	○はまだ健康チャレンジ事業（はまチャレ）の実施【第1期：4～8月、第2期：9～1月】 (1)事業周知 ・広報(9月)、ホームページ ・チラシの配布 ・はまチャレ普及啓発DVD作成・出前講座 ・まちづくりセンター、まちづくり推進委員会、健活応援事業所他事業所等に周知 ・声をかけ合って応募する仕組みづくり サロン・認知症予防教室・その他人が集う場で周知しグループエントリーを依頼。 取組状況をホームページ・SNS・CATVで紹介。 ・SNS「浜田市健康情報」で情報発信	○	実施した内容	○はまだ健康チャレンジ事業（はまチャレ）の実施 (1)事業周知 ・広報(4月、9月)、ホームページ、チラシの配布 ・はまチャレ普及啓発DVD活用 ・健活事業所、まちづくりセンター、スポーツ施設等関係機関 ・SNS「浜田市健康情報」 ・出前講座や百歳体操等の地域の集まりの場 (2)市内ウォーキングマップの活用 ・既存のウォーキングマップやウォーキング大会の紹介 ・おすすめコースランキングの実施 集計結果をホームページに掲載 ・すこやか員・食改等健康づくりボランティア組織やまちづくりセンター等との連携 (3)グループエントリー実施 ・対象：3人以上のグループ ・応募数 1期36G、2期38G、3期40G (4)ポイント応募者への対応 ・抽選会の実施(3期実施) 1期(4月～6月)、2期(7月～9月) 3期(10月～1月) (各期：100名、15グループ) ・はまチャレ応援賞(健康増進に関する連携協定企業より協賛) R4年度 応募総数 延べ3,110名、実人数 517名 【内訳】 ・1期応募数 延べ965名(一般677名、職員288名) 実人数390名(一般283名、職員107名) ・2期応募数 延べ 964名(一般708名、職員256名) 実人数 374名(一般276名、職員98名) ・3期応募数 延べ1,181名(一般：987名、職員194名) 実人数395名(一般：308名、職員87名) (5)効果的な事業実施に向けての検討 ・データのまとめ ・検討会の実施	○ <			

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

[illegible]

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【健康福祉部子ども・子育て支援課】

No.	項目	目的・目標	令和3年度	評価	総合評価	令和4年度	評価	総合評価	令和5年度	評価	総合評価	令和6年度
14	子どもを安心して産み育てる環境の充実	子育て世代包括支援センターの整備 (令和4年度供用開始)	○子育て世代包括支援センターの整備 (1)子育て世代包括支援センターの整備 ・入札(6月) ・契約締結(6月) ・建築工事(～3月)		○	施設運営						
		放課後児童クラブ民間委託の検討 (全20か所のうち直営の14か所の民間委託)	○放課後児童クラブの運営の民間委託 (1)放課後児童クラブの民間委託(2か所程度)の検討 ・民間委託実績のある事業者等から、情報収集を実施 ⇒令和3年8月～10月に公募を行い、令和4年度から2か所で民間委託を実施		○	○放課後児童クラブの運営の民間委託 (1)放課後児童クラブの民間委託の検討 ・市内の保育所等に対し、運営の意思確認等を行う。 ⇒令和4年11月に市内で保育所等の運営を行っている社会福祉法人へ意向調査を実施し、2法人に受託の意向があることを確認することができた。		△	○放課後児童クラブの運営の民間委託 (1)放課後児童クラブの民間委託の検討 ・民間委託する放課後児童クラブを1か所程度選定する。 ⇒やさか児童クラブの民間委託を決定した。 8/8 保護者説明会 8～10月公募(10/20 プロポーザル審査会) (2)雲雀丘小学校統廃合に伴う、放課後児童クラブの円滑な移行の実施 ・委託先と連携し、通学バス対応や生活環境の変化等に対応 ⇒児童同士の交流会を実施(7/26、3/25) 入会児童数が定員を超え、居住地区別に受入施設を分けて対応したため、交流した児童と一緒に活動する時間が減少 (3)石見小校区の3か所を除く4校区6か所の放課後児童クラブについて、令和11年度までに民間委託を実施 ⇒順次、民間委託を進めるためのスケジュール案を検討した。	○	△	○放課後児童クラブの運営の民間委託 (1)石見小校区の3か所を除く4校区6か所の放課後児童クラブについて、令和11年度までに民間委託を実施する。 ※令和6年度 直営クラブ5校区9か所 委託クラブ9校区10か所
		病児・病後児保育室、休日応急診療所の整備 (令和3年度供用開始)	項目なし		○	施設運営						
		出会い・結婚・出産・子育て応援事業所認定事業の実施 ・事業内容の協議、検討(～3月) ・事業の実施(10月～) ⇒事業内容を変更し、令和4年度から事業実施			△	事業実施						
		父親の育児参加を促進する取組の実施	項目なし			項目なし			○父親の育児参加を促進する取組の実施 (1)父親の育児参加状況の把握 ・アンケート内容の検討 ・小学生以下の保護者を対象にアンケートを実施 (2)父親の育児参加促進策の検討	△	△	○父親の育児参加を促進する取組の実施 (1)父親の育児参加状況の把握 ・アンケート内容の検討 ・小学生以下の保護者を対象にアンケートを実施 (2)父親の育児参加促進策の検討
		児童手当制度改正への対応	項目なし			項目なし			項目なし			○児童手当制度改正への対応(児童手当支給対象拡充) (1)システム改修 (2)拡充に伴い新たに支給対象となった者への申請勧奨 (3)制度改正後の支給開始
												計画

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【市民生活部環境課カーボンニュートラル推進室】

No.	項目	目的・目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
15	地球温暖化対策	2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現	実施した内容		実施した内容		実施した内容		計画	
			○新組織設置の検討 (1)準備室の設置 ⇒R3.12月設置 (2)〈仮称〉カーボンニュートラル推進室の設置 (令和4年4月～) ⇒機構改革決定		○市民と共に学ぶ環境づくり事業 (1)スマホアプリの導入 ⇒「ごみ分別アプリ」にクイズ・スタンプラリー機能を追加、ポイント交換業務開始 (3/27) (2)配信動画の作成 ⇒はまだエコスクール3回放送 (1/27、2/27、3/26) (3)推進組織の構築 ⇒R4.8.1設置、第2回推進本部会議の開催 (4)ゼロカーボンシティ表明 ⇒9月1日表明、ロゴマーク募集、応募13件 ⇒ロゴマーク表彰式、バックパネル作成 (5)温暖化対策実行計画の改定 ⇒R5国庫補助事業を予定 ⇒プロポーザル事業者の選定 (6)総務省専門人材招へい事業 ⇒11/11交付決定、計14回の活動を実施済		○市民と共に学ぶ環境づくり事業 (1)スマホアプリのポイント交換 ⇒ポイント交換者累計142名(4/4時点) (2)エコスクール番組配信(年6本) ⇒はまだエコスクール毎月放送 (再放送6本、新作6本) (3)市民・事業者への研修・講演会 ⇒第1回環境講演会約70名7/28 ⇒第2回環境講演会約80名10/3 ⇒第3回環境講演会約70名11/10 ⇒再エネセミナー約50名1/20 ⇒出前講座約20名11/15 ⇒出前講座約20名2/21 (4)カーボンニュートラル施策の監理業務支援委託 ⇒脱炭素施策について専門家に助言や提言等の支援を受ける協議を毎月開催		○市民と共に学ぶ環境づくり事業 (1)スマホアプリによる啓発 ・脱炭素クイズの更新でポイント付与 ・海洋プラ再生ボールペンの記念品 (2)CATV番組による啓発 ・地元CATV協働制作番組を毎月放送 (新番組6本、再放送6本) ・番組をネット配信しポイント付与 (3)出前講座・研修会・講演会による啓発と協働 ・研修会、講演会、出前講座の開催 ・市民団体との協働(石炭灰の利活用) (4)カーボンニュートラル施策の監理支援業務委託 ・専門家による市脱炭素施策の監修 (5)浜田地域脱炭素推進協議会の設立 ・民間主導で事業者・県大・行政との協議会	
			○カーボンニュートラルの推進 (1)脱炭素先行地域(全国100所)への応募 ⇒他市の応募状況を見て検討する (2)市有施設における再エネ・省エネ設備等の導入推進(10月～) ⇒7号荷さばき所にPPA事業のプロポーザル実施 (3)再エネ・省エネに係る補助金制度拡充の検討(10月～) ⇒R4当初予算提案済み(新要綱を制定) (4)民間(企業、個人)における再エネ・省エネの推進策の検討(10月～) ⇒補助制度の拡充とバイオマス発電の導入支援		○地域の再生可能エネルギー導入支援事業 (1)再生可能エネルギー設備等導入支援事業補助金制度 ①住宅用太陽光発電設備 9件 ②蓄電池設備 17件 ③太陽熱利用設備 0件 ④木質バイオマス熱利用設備 4件 ⑤林地残材集積装置 0件 ⑥畜産バイオマス利活用設備 0件 計 30件(4,960,000円) ⇒R4実績:21件、5,588,000円 ⇒R5予算:41件、8,520,000円		○地域の再生可能エネルギー導入支援事業 (1)再生可能エネルギー設備等導入支援事業補助金制度 ①住宅用太陽光 9件 ②蓄電池 17件 ③太陽熱利用 0件 ④木質バイオマス 4件 ⑤林地残材集積装置 0件 ⑥畜産バイオマス利活用設備 0件 計 30件(4,960,000円) (2)若者支援(39歳以下に上乗せ補助) ①住宅用太陽光 4件 ②蓄電池 6件 ③太陽熱利用 0件 ④木質バイオマス 2件 計 12件(4,128,000円)		○地域の再生可能エネルギー導入支援事業 (1)再エネ設備の導入支援補助金 ①住宅用太陽光 ②蓄電池 ③太陽熱利用 ④木質バイオマス ⑤畜産バイオマス利活用設備 (2)若者支援事業(39歳以下に上乗せ補助) ①住宅用太陽光 ②蓄電池 ③太陽熱利用 ④木質バイオマス	

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

[illegible]

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【産業経済部商工労働課】

No.	項目	目的 ・目標	令和3年度	評価	総合 評価	令和4年度	評価	総合 評価	令和5年度	評価	総合 評価	令和6年度		
16	BUY浜田運動	BUY浜田運動の浸透及び定着	実施した内容			実施した内容			実施した内容			計画		
			○BUY浜田運動の実施 (1)運動継続の仕組みづくり ①推進委員会の開催 ②市民を対象とした認知度等アンケート調査 ・11～12月(8店舗+WEB、744人) ・アンケート結果 「知っている」32.3% (前年度△1.8ポイント) 「聞いたことがある」29.6% (前年度10.9ポイント) 「知らない」38.1% (前年度△9.1ポイント) ③運動拡大の取組 ・小売店との更なる連携強化 キヌヤ長澤店、ゆめマート浜田での店頭周知 ・ゆめタウン浜田店でのフェア協力 5月・6月・11月・1月に幟旗・ポスター掲示	△		○BUY浜田運動の推進 (1)認知度の向上 ①BUY浜田屋市の開催 ・各産業祭でのDVD放映 ・3/25・26ゆうひパーク浜田で開催 (はまだお魚市場でも同時開催) ②認知度等アンケート調査 ・取扱店舗ヒアリング(6～7月・10店舗) ・市民アンケート(1～2月) 実施概要:1～2月(8店舗+WEB、686人) アンケート結果 「知っている」28.3% (前年度△0.6ポイント) 「聞いたことがある」33.1% (前年度+5.9ポイント) 「知らない」38.6% (前年度△5.4%) ③運動拡大の取組 ・はまだお魚市場、ゆめタウン浜田店でのPR活動 ・石見ケーブルビジョンでの事業紹介	△		○BUY浜田運動の推進 (1)認知度の向上 ①BUY浜田屋市の開催(2回程度開催予定) ⇒9/9、10南極観測船「しらせ」一般公開イベントに合わせて実施 ⇒9/17ベルガロソいいわみと共催で実施 ②認知度等アンケート調査 (6～7月実施予定) ⇒・取扱店ヒアリング(6～7月・10店舗) ・市民アンケート(6～7月) 実施概要:6～7月(8店舗+WEB、657人) アンケート結果 「知っている」25.6% (前年度△2.7ポイント) 「聞いたことがある」33.8% (前年度+0.7ポイント) 「知らない」40.6% (前年度+2.0%) ③運動拡大の取組 ・石見ケーブルビジョンとの連携 ⇒9/19浜っ子タイムズにて放映 ・広報はまだによる周知(年4回実施予定) BUY浜田運動の特集記事掲載(5月) ⇒5月、8月号、11月号、1月号掲載	△		○BUY浜田運動の推進 (1)認知度の向上 ①各種産業祭・イベントへの参加 ②認知度等アンケート調査(7月頃実施) ③運動拡大の取組 ・石見ケーブルビジョンとの連携 ・広報はまだへのBUY浜田運動の特集記事掲載による周知(5、8、11、2月) (2)運動グッズ等による啓発活動 ①取扱店での啓発 ・BUY浜田対象商品PRの検討 ・シール活用の検討 ②テーマソング動画の活用 ・小売店等の店頭での動画放映 ・イベントでの活用検討 ③幼保・小中学校への啓発 ・幼保・・・ダンス活用 ・小中学校・・・地産地消学習の実施	△	
			(2)BUY浜田屋市の開催 ①商店街等と連携した開催 ②お魚市場グランドオープン時の開催 ・お魚市場グランドオープン 7/22～23 ・石央物流団地30周年記念イベント 11/20	○		(2)運動グッズ等による啓発活動 ①取扱店での啓発 ・BUY浜田対象商品PRの検討 ・シール活用の検討 ②テーマソング動画の活用 ・浜っ子タイムズ(6月) ・小売店等の店頭での動画放映 ・産業祭での動画放映 ③幼保・小中学校への啓発 ・幼保・・・ダンス活用(BB大鍋フェスティバル、旭ふるさとまつり、みすみフェスティバル) ・小中学校・・・地産地消学習(波佐小、旭小、浜田東中)	○		(2)運動グッズ等による啓発活動 ①取扱店での啓発 ・BUY浜田対象商品PRの検討 ・シール活用の検討 ②テーマソング動画の活用 ・小売店等の店頭での動画放映 ・イベントでの活用検討 ・各種産業祭での動画放映 (金城、旭、三隅) ③幼保・小中学校への啓発 ・幼保・・・ダンス活用 ・小中学校・・・地産地消学習の実施 ⇒7/19 松原小、9/15国府小、9/27弥栄中、10/4原井小、11/13三隅小、11/21金城中、1/24浜田東中	○		○デジタル技術を活用した地域経済活性化の検討 ①意見交換会・検討会の開催 ・先行事例の調査・研究 ②協議会準備会組織の組成	○	
			(3)運動グッズ等による啓発活動 ①取扱店での啓発 ・BUY浜田ダンス映像の活用依頼 ・ミニ幟旗、プライスカードへのロゴマーク掲載依頼 ②生産者等へのシール活用の案内 ・JAきんさい市場でのシール添付協力 ・加工・製造事業者へのロゴマーク活用依頼 ③BUY浜田運動テーマソング動画の活用 ・ダンス動画リニューアル (1～3月、27団体・人) ④小中学校への啓発 ・教育委員会と連携した取組(11月) 学校給食献立表への掲載 給食時にテーマソングを放送 ⑤広報はまだによる周知 ・BUY浜田運動の特集記事掲載(11月)	△	△	(3)電子地域通貨の導入検討 ①県立大学との共同研究の実施 ②中国経済産業局との勉強会の開催 (1/23・24)	△		(3)電子地域通貨の導入検討 ①ワーキング会議の設置 ・検討メンバーの選定 ・先行事例の調査・研究 ⇒デジタル技術を活用した地域課題解決案の提案会 (経済産業局・総合通信局主催 7/26、27) ⇒講演会開催(『キャッシュレス決済・地域通貨 などによる地位経済活性化について』 8/21) ⇒講座・意見交換会の開催(『スマートシティに向けた取組』12/4) ⇒意見交換会・検討会の開催(スマートシティ(電子地域通貨を含む)の意見交換・検討会2/1)	△				

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
17	事業承継・創業支援対策	事業承継の推進 ・事業承継相談カルテを200社作成（令和3年度までの累計）	△	△	○	○	○	○	○	○
		実施した内容 ○事業承継の推進 (1) 浜田事業承継サポート窓口 [目標] 事業承継相談カルテ50社作成 ・15社(12月末) ・長引くコロナ支援対応によりカルテ作成が進まなかった (2) 浜田市事業承継推進会議の開催 (9月、3月) 構成機関 商工団体、金融機関、行政 ①事業承継推進策の検討 ②浜田事業承継サポート窓口の進捗管理 ・承継支援スキーム推進会議で検討中 (3) 事業承継セミナー、個別相談会の開催 ・商工団体、金融機関が中心となって実施 (浜田市事業承継推進会議が後援) ・事業承継・後継者育成セミナー(2月) (4) 地域おこし協力隊制度の活用 ①後継者マッチング支援事業 ・協力隊員と事業所のマッチング支援 1名辞任(10月) ②料理人等人材育成支援事業 ・料理人を希望する地域おこし協力隊員の募集(2名)(7月～) 応募1名・合格1名 ・料理人が不足している飲食店、旅館等の再募集(5月～) 1事業所追加	△	△	○	○	○	○	○	○
		項目なし			○	○	○	○	○	○
		起業・創業者数の増加 ・年間33件以上 起業・創業者数18件			○	○	○	○	○	○
		実施した内容 ○起業・創業支援 (1) 起業セミナーの開催 ①女性向けプチ創業セミナーの開催 ・4回コース(8/27、9/10、9/23、9/24) ・参加者11名 ②シニア・若者向けセミナーの開催 ・【基礎編】2回コース(10/15、10/22) ・【ビジネスプラン作成編】5回コース(11/5、11/12、11/19、11/26、12/3) ・参加者12名 (2) 起業家のフォローアップ ①起業間もない方への伴走支援 ・市内事業者と委託契約を締結 ②起業予備軍の掘り起こし ・3/4～5起業準備セミナーの開催			○	○	○	○	○	○
		起業・創業者数19件			○	○	○	○	○	○
		実施した内容 ○事業承継の推進 (1) 事業承継推進策の検討 ①事業承継推進会議の開催 ・年2回開催予定 ⇒9/29開催、3/19開催 ②事業承継サポート窓口の活用 ③事業承継相談会の実施(随時) ・8/10個別相談会 ・1/23個別相談会 ④事業承継セミナーの開催 ・1月頃開催予定(会議所が主催) ⇒2/19開催 (2) 地域おこし協力隊制度の活用 ①後継者マッチング支援事業 ・1名任期終了(4月末) ・1名活動中 ②料理人等人材育成支援事業 ・2名活動 ⇒1名辞退(5/15)	○	○	○	○	○	○	○	○
		計画 ○事業承継の推進 (1) 事業承継推進策の検討 ⇒(仮称)金融機関・商工団体担当者向けセミナーを計画(9月頃) ①事業承継推進会議の開催(年2回) ②事業承継サポート窓口の活用 ③事業承継相談会の実施(年2回) ⇒7/12事業承継個別相談会 ④事業承継セミナーの開催 ・1月頃開催予定(会議所が主催) (2) 地域おこし協力隊制度の活用 ①後継者マッチング支援事業 ・1名活動中 ②料理人等人材育成支援事業 ・1名活動中	○	○	○	○	○	○	○	○
		実施した内容 ○起業・創業支援 (1) 起業セミナーの開催 ①女性向け創業セミナーの開催 ・4回コース(9/9、9/16、9/30、10/1) ・参加者12名 ②起業家育成セミナーの開催 ・7回コース(10/14、10/21、11/4、11/11、11/18、11/25、12/2) ・参加者21名 ③チャレンジショップの設置検討(5～6月) ・商店街の状況調査実施 ⇒1回目 6月 ④高校生・大学生向けイベントの実施 ・アントレプレナーシップ育成講座 浜田商業高校生(2年生)28名 11月～2月まで計10回の講座実施 2/13発表会 (2) 起業家のフォローアップ ①起業間もない方への伴走支援 ・市内事業者に委託(5～6月) ⇒6月契約締結 ②起業予備軍の掘り起こし ⇒3/16、3/23開催	○	○	○	○	○	○	○	○
		計画 ○起業・創業支援 (1) 起業セミナーの開催 ①プチ創業セミナーの開催 ②起業家育成セミナーの開催 ③高校生・大学生向けイベントの実施 アントレプレナーシップ事業 (2) 起業家のフォローアップ ①起業間もない方への伴走支援 ⇒(仮称)しまね産業振興財団による起業希望者セミナーを計画中(7～8月)	○	○	○	○	○	○	○	○

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			項目なし	評価	項目なし	評価	項目なし	評価	項目なし	評価
18	道の駅ゆうひパーク浜田	民間活力を活用したR6年4月リニューアルオープン	実施した内容		実施した内容		実施した内容		計画	
							○道の駅ゆうひパーク浜田のリニューアル (1)リニューアル基本方針の策定 ①方針作成 (2)事業者選定支援等アドバイザー業務委託の実施 (R5年10月～R7年3月の複数年で実施) 9月締結:株式会社山本コンサルタント ①市民・利用者ニーズ調査(12月実施済み) 市民アンケート(無作為抽出配布):636人/1650人 (回収率38.5%) 道路利用者アンケート(WEB調査):493人 ②サウンディング型市場調査(11～5月実施中) 紙面サウンディングで「意欲的」と回答した5社に 対面サウンディングを実施(1月中) ⇒2月以降、企画提案の可能性の高い事業者へ再度ヒアリングを実施 ③ゆうひ公園の一体的活用における協議・調整 (1～3月実施) ④事業スケジュールの構築(作成中)、公募書類一式の 検討及び作成(2～5月実施予定) ⇒5月末～6月末に公募開始予定 (3)国交省との協議・調整 ①浄化槽・上水給水ポンプの修繕 ⇒令和7年度中の実施に向けて国交省と調整中 ②土地の無償譲渡 ⇒サウンディング市場調査及び提案内容を踏まえ 国交省と協議	○	○	△
										○道の駅ゆうひパーク浜田のリニューアル (1)事業者選定支援等アドバイザー業務委託の実施 契約期間:R5年9月28日～R7年3月31日 委託事業者:株式会社山本コンサルタント ①サウンディング型市場調査(R5年11月～R6年5月実施) 紙面サウンディングで「意欲的」と回答した5社に 対面サウンディングを実施(R6年1～5月) ②公募書類一式の検討及び作成(R6年4月～実施予定) ③優先交渉事業者の公募・選定及び契約締結に係る 支援(事業者決定後) (2)国交省との協議・調整 ①浄化槽・上水給水ポンプの修繕 ⇒令和7～8年度中の実施に向けて国交省と調整中 ②土地の無償譲渡 ⇒サウンディング市場調査及び提案内容を踏まえ 国交省と協議

【産業経済部産業振興課】

No.	項目	目的・目標	令和3年度	評価	総合評価	令和4年度	評価	総合評価	令和5年度	評価	総合評価	令和6年度	
19	事業者ヒアリングの結果を受けた対策(商品開発、販路開拓の支援など)	販路拡大へ向けた商材開発・販路チャンネルの拡大	項目なし			○商品開発・商品改良 (1)事業者参加ビジネス交流会「オール浜田企画部」においてテーマ設定し開催 ・実践を踏まえた講師を迎え、セミナーを開催 ・パッケージデザイン改良、既存商品のブラッシュアップ等 ⇒「販路拡大のための商品改良・開発プログラム」(7月～1月、全4回)実施予定 第1回 7月13日・14日実施 第2回 9月13日実施 第3回 11月10日、17日実施 第4回 1月16日実施		○	○商品開発・商品改良 (1)食品製造事業者を対象に、商品のブラッシュアップや情報発信・販売促進の方法について再検討してもらう場面を提供する。 ⇒「商品改良・開発プログラム」実施予定 ・セミナー開催 第1回 8月30日 セミナー「新商品づくりについて」食品製造9社11名参加 第2回 10月27日 セミナー「SNS発信について」 ・商品開発サポート 伴走支援…3社 ・販路拡大支援		○	○商品開発・商品改良 (1)食品製造事業者を対象に、商品のブラッシュアップや情報発信・販売促進の方法について再検討してもらう場面を提供する。 ⇒「商品改良・開発プログラム」実施予定 ・セミナー開催 2回 ・商品開発サポート ・販路拡大支援	
						○販路拡大 (1)バイヤー招聘・商談会 4月 関東1社 7月 関東1社、関西1社 8月 関東1社 9月 関東2社 1月 関東4社、広島1社、県内3社 3月 四国1社 (2)WEB商談会 都内飲食店オーナーへのマッチング企業と協働企画 ⇒10月20日実施 (3)ネット販路の拡大 (ECポータルサイトの紹介) (4)フェア・見本市等出展支援 ビジネスフェア中四国2023出展補助7社 (5)WEB版特産品ガイドの掲載商品情報更新 ⇒「2022」表示対応済み ・令和4年度 販路拡大支援による取引実績 172,301千円(前年比23,380千円増)			○販路拡大 (1)バイヤー招聘・商談会(WEB商談含む) 5月 関東1社 7月 関東1社 9月 関東2社、関西1社、四国1社 11月 中国1社 3月 関東2社、四国1社 (2)ネット販路の拡大(ECポータルサイトの紹介) (3)フェア・見本市等出展支援 ビジネスフェア中四国2024出展補助4社 各種見本市等出展経費補助12社 (4)WEB版特産品ガイドの掲載商品情報更新 ⇒「2023」表示対応済み ・令和5年度 販路拡大支援による取引実績 186,348千円(前年比14,047千円増)			○販路拡大 (1)バイヤー招聘・商談会(WEB商談含む) (2)フェア・見本市等出展支援 (3)WEB版特産品ガイドの掲載商品情報更新	
						○			○			○	○
						○			○			○	
			実施した内容			実施した内容			実施した内容			計画	

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【産業経済部農林振興課】

No.	項目	目的・目標	令和3年度		評価	総合評価	令和4年度		評価	総合評価	令和5年度		評価	総合評価	令和6年度					
20	農林業の振興	集落営農の推進と担い手確保	実施した内容	○農地集積と担い手対策 (1)広域連携への取組 ・広域連携協議会の設立(目標2地区) ⇒1地区設立(美川西農業連携協議会) ・広域連携への検討:2地区 ・地域間連携:1モデル ⇒センチビードグラスの吹き付け連携 ・農作業の省力化 ⇒井関農機及び島根県との連携協定 ・抑草ロボットの実証 (2)認定農業者の育成 ・新規認定農業者:(目標3経営体) ⇒4経営体決定 ・認定農業者協議会設立:(目標:1地区) ⇒1地区検討中 ・研修会の開催:コロナにより中止 (3)新規就農者の確保 ・農業研修生制度の検討 ・農業研修生:3名(目標2名) ・新規就農者:3名(目標3名)	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
				計画	○農地集積と担い手対策 (1)企業による農地集積の推進 ・楽天農業、中森農産 (2)認定農業者の確保・育成 ・認定農業者数(新規)の増加(目標:1経営体) ・中間年評価及び改善指導の実施 (3)認定新規就農者の確保・育成 ・認定新規就農者数の増加(目標:1経営体) (4)農業研修生(ふるさと研修生・地域おこし協力隊)の確保・育成 ・研修生の確保(目標:3名) 5/13 東京農大協議 5/17 樹マイファーム(アグリイノベーション大学校)協議	○	○	○	○	○	○	○	○							
	農業所得の向上		実施した内容	項目なし			○振興作物の推進 (1)振興作物の推進 ①有機野菜 ・販路拡大 ⇒楽天農業物流実証実施 ⇒楽天農業加工場検討 ・有機露地野菜の推進 ⇒オーガニックビレッジ検討委員会の開催(4回) ⇒有機野菜先進地視察(11、2月) ⇒ヤマガタデザインアグリ研修会(2月) ⇒有機農業推進研修会の開催(3月) ②大粒ぶどう ・新規就農者の確保 ⇒認定新規就農者:1名 ③赤梨 ⇒人・農地プラン作成(山ノ内) ④西条柿 ⇒人・農地プラン作成(東平原) (2)組み合わせ作物 ①有機露地野菜の導入推進 ⇒有機露地ブロックリー栽培実証実施(40a)再掲 ②水田園芸の産地化 ⇒玉ねぎ栽培実証実施:2件 ⇒キャベツ品種比較試験実施:1件 ⇒機械導入支援:1件	○	○	○	○	○振興作物の推進 (1)有機野菜 ①楽天農業とぐりーんはーととの連携組織協議 ⇒6月 楽天農業協議(元谷田地活用) ⇒9月 金城地域住民説明会開催 ②有機米の生産拡大 ・生産者協議の実施 ・ヤマガタデザインとの販路協議 ⇒有機米実証実施(4経営体 10,252㎡) ⇒R6農研機構(西日本農業研究センター)との共同実証実施決定 ⇒生産者協議の実施(通年) ⇒7月 島根大学協議 ⇒8月 農研機構(西日本農業研究センター)協議 ⇒12月 民間稲作研究所研修 ⇒1月 浜田市益田市有機米生産者意見交換会 ⇒3月 有機米栽培研修会開催(38名参加) ③フードバリューチェーンの構築 ・企業連携の推進 ⇒8月 ヤマガタデザイン商談 ・加工業者との協議 ⇒6月 楽天農業加工施設視察(マルハマ、JA) ⇒8月 マルハマ食品・ぐりーんはーと協議 ⇒10月 産業技術センター協議(冷凍加工)	○	○	○	○	○	○	○	○
			実施した内容	項目なし			○振興作物の推進 (1)有機野菜 ・有機JAS圃場面積の拡大(目標:2ha) (2)有機米 ・有機JAS圃場面積の拡大(目標:1.4ha) 4/24 有機米栽培研修会 5/27 有機米産地創出PJ会議 農研機構アイガモロボ実証開始 (3)フードバリューチェーンの構築 ・企業との連携構築 (4)オーガニックビレッジ構想の推進 ・有機給食の実施(目標:年10回実施)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

[illegible]

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

20	農林業の振興	儲かる林業に向けた森林整備 ・素材生産量の拡大(認定事業体による原木生産量7万㎡以上)	実施した内容	○森林団地化と施業経営の集約化 (1)森林の境界明確化 ・人工林の境界測量 ⇒吉地町・治和町10ha、三隅町井野25ha (2)豊かな森づくり事業の推進 ・豊かな森づくり推進協議会総会(7/9) ・豊かな森づくり推進協議会委員会(11/12) (3)新たな森林管理システムの推進 ・再生可能森林の掘り起こし ・不在森林所有者の調査 (4)木育の推進 ・木育指導者の確保 ⇒木育指導者の認定(3名) ・木育の普及促進 ・木育イベント(8/8) ・市産材を活用した誕生祝い品討合(11/24) (5)木材の有効活用と高付加価値化 ・市産建築材の利用促進 ・市産広葉樹ブランドの展開	○ ○ ○ ○ ○	○	実施した内容	○素材生産量の増加 (1)経済林の有効活用 ①新たな森林管理システムの推進 ・経営管理権を取得した森林について、木材搬出用の作業道を整備 ・架線集材による搬出支援を実施(2件2,211m) (2)市産木材の有効活用と普及促進 ①市産建築材の利用促進 ・市産材を使用した住宅建築普及促進対象21件 123.97㎡使用 ・市産檜材ベンチ38基、テーブル10基制作(設置場所) かなぎウェスタンライディングパーク 堂床山山顶休憩所 あさひ荘 三隅中央公園陸上競技場 ②市産広葉樹ブランドの展開 旭中学校において市産広葉樹製下駄箱の制作設置及び音楽室床の改修を実施 ・市産木製品の普及促進 子育て包括支援センター用遊具制作 (3)木育の推進 ①木育指導者の確保 ・木育指導者2名による木育イベントの実施 ②木育の普及促進 ・山村地域の木育推進事業の実施 対象中学校(金城、旭、弥栄、三隅)において森林学習・木工体験を実施(計8回延15時間) ・出生祝い品の贈呈 (市産材によるカストネット、積み木) (4)低コスト再造林の推進 ・コンテナ苗の出荷拡大 R4年度目標30,000本→実績32,022本 ・市有林の皆伐と再造林 弥栄町市有林の皆伐を令和5年度以降に延期 ・早生樹の導入促進 ユーカリの実証実験試験地の確保	○ ○ ○ ○ △		実施した内容	○素材生産量の増加 (1)経済林の有効活用 ・架線集材による搬出支援を実施(4件2,780m) (2)市産木材の有効活用と普及促進 ①市産建築材の利用促進 ・市産材を使用した住宅建築普及促進対象31件 243.9㎡使用 ②市産広葉樹ブランドの展開 旭中学校において市産広葉樹材を使用した多目的室床(121㎡)の木質化を実施 (3)木育の推進 ①木育指導者の確保 新たに3名を認定(合計6名) ②木育の普及促進 ・山村地域の木育推進事業の実施 対象中学校(金城、旭、三隅)において森林学習・木工体験を実施(計4回延15時間) ・出生祝い品の贈呈 (市産材によるカストネット、積み木) (4)低コスト再造林の推進 ・コンテナ苗の出荷拡大 R5年度目標24,200本 → 実績32,590本 ・早生樹の導入促進 ユーカリの実証実験の開始(R5.5～) 植栽地 旭町本郷 1,200㎡ 250本	○ ○ ○ ○ ○	○	計画	○素材生産量の増加 (1)経済林の有効活用 ・架線集材による搬出支援を実施 (2)市産木材の有効活用と普及促進 ・市産材を使用した住宅建築普及促進 ・市産広葉樹ブランドの展開 (3)木育の推進促進 ・木育指導者の確保 ・山村地域の木育推進事業の実施 ・出生祝い品の贈呈 (4)低コスト再造林の推進 ・コンテナ苗の出荷拡大 ・早生樹の導入促進
----	--------	--	--------	--	-----------------------	---	--------	--	-----------------------	--	--------	--	-----------------------	---	----	--

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【産業経済部水産振興課】

No.	項目	目的・目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
21	水産業の活性化	水産物の販路拡大	○「山陰浜田港」水産物の販路拡大対策 (1)「山陰浜田港」PR活動(生産者・仲買との連携) ①「四季のお魚」、「どんちっち三魚」、「沖獲れ一番」PR ・「浜田港四季のお魚」認証店の拡充 【目標】35店舗⇒33店舗 ・「どんちっち」加盟事業者の拡充 【目標】150社⇒146社 ・魚料理普及協力店の拡充 【目標】のどろ24店舗⇒21店舗 アンコウ16店舗⇒14店舗 ②大消費地(築地・広島等)へのPR ・大卸、仲卸への営業活動・意見交換会開催 ③魚食普及活動 ・お魚料理教室開催(8回) ⇒(開催6回/中止2回) ・Sea級グルメ全国大会in境港参加⇒中止 ・お魚検定開催⇒令和4年度に実施予定 ・小中学校ノドグロ給食実施支援(11月)	○	○「山陰浜田港」水産物の販路拡大対策 (1)「山陰浜田港」PR活動 ①ブランド化の推進 ・「浜田港四季のお魚」認証店の拡充 ・「どんちっち」加盟事業者の拡充 148社 ・魚食普及協力店の拡充 ②消費地市場へのPR (2)魚食普及活動 ・お魚料理教室開催 ・お魚検定開催(2/18) ・Sea級グルメ全国大会in八幡浜参加(11/12～13) ⇒「山陰浜田港あんこう鍋」優秀賞受賞 ・どんちっちノドグロ給食提供(2/14～3/3)	○	○「山陰浜田港」水産物の販路拡大対策 (1)「山陰浜田港」PR活動 ①ブランド化の推進 ・「浜田港四季のお魚」認証店の拡充 ・「どんちっち」加盟事業者の拡充 150社 ・魚食普及協力店の拡充 ②消費地市場へのPR (2)魚食普及活動 ・お魚料理教室開催 ・お魚検定開催(12/16・17) ⇒参加者38人 ・Sea級グルメ全国大会in沼津参加(10/28～29) ⇒「浜田アンコウとノドグロ旨み焼売」準優勝受賞 ・どんちっちノドグロ給食提供(2/13～28)	○	○「山陰浜田港」水産物の販路拡大対策 (1)「山陰浜田港」PR活動 ①ブランド化の推進 ・「浜田港四季のお魚」認証店の拡充 ・「どんちっち」加盟事業者の拡充 ・魚食普及協力店の拡充 ②消費地市場へのPR (2)魚食普及活動 ・お魚料理教室開催 ・お魚検定開催(12月頃) ・Sea級グルメ全国大会in境港参加(11/9～10) ・どんちっちノドグロ給食提供(2月頃)	○
			○(2)販路拡大活動 ①既存取引企業の取引量増加 ・営業活動の実施 ②新規開拓 ・「山陰浜田港」PR、営業活動(スーパー、飲食店など) ・バイヤー招聘対応	○						
		浜田漁港周辺エリアの活性化	項目なし		○高度衛生管理型荷さばき所の整備 (1)計画に基づく事業実施 ①4号荷さばき所の整備 ・建築工事(～3月) ・落成式典(3/18)	○	高度衛生管理型荷さばき所の運営 7号荷さばき所(令和2年8月～) 4号荷さばき所(令和5年4月～)			
			○山陰浜田港公設市場の整備 (1)計画に基づく事業実施 ・グランドオープン 7/22 (2)公設水産物仲買売場の解体 ・解体工事(12月着手)	○	○山陰浜田港公設市場の整備 (1)賑わいイベントの開催 ・山陰浜田港秋のわくわくマルシェ開催(10/23) ・春祭り開催(3/26)	○	○浜田漁港周辺エリアの活性化 (1)活性化イベントの開催 第1回島根イタリー(5/21) 水高まつり(6/4) お魚市場感謝祭(7/16) 第2回島根イタリー(11/12) ラーメンフェス(3/23)	○	○浜田漁港周辺エリアの活性化 (1)活性化イベントの開催 ・島根イタリー(5/26) ・どんちっちアジ祭り(6/1) ・水高まつり(6/8)	○
			○漁港エリアの活性化対策 (1)瀬戸ヶ島埋立地の活用 ①企業との陸上養殖の共同研究に基づく事業化に向けた取組実施 ・関係機関との協議 ・事業内容の検討 ・支援策の検討	△	○瀬戸ヶ島埋立地の活用 (1)企業との陸上養殖の共同研究に基づく事業化に向けた取組実施 ・関係機関との協議 ・事業内容の検討 ・支援策の検討 ・マルハニチロ訪問(10/20、1/19)	△	○養殖事業等新たな水産事業の検討 (1)企業との共同研究協定に基づく養殖事業の可能性の検討 ・海面測量調査等の実施(4月～7月) ・調査結果に基づく研究(8月～) 調査報告会(3/6)	△	○養殖事業等新たな水産事業の検討 (1)企業との共同研究協定に基づく養殖事業の可能性の検討	

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

21	水産業 の活性 化	水揚の 維持・増 大	○地元漁船の維持・存続 (1) 地元漁船の存続対策 ①漁業経営体の意向確認 ②新船建造に向けた支援策の検討 ⇒漁業経営体特別応援給付金交付 (4/27～6/30) 浜田地域水産業構造改革推進プロジェクト 改革計画策定(3月)	○	○	○地元漁船の維持・存続 (1) 新船建造支援 ・支援制度の構築 (2) 担い手対策 ・若者漁業者確保支援事業の実施 1名 ・U・Iターン漁業研修事業の実施 2名	○	○	○地元漁船の維持・存続 (1) 新船建造支援 ・支援制度の構築(4月～10月) (2) 担い手対策 ・若者漁業者確保支援事業の実施 1名 ・U・Iターン漁業研修事業の実施 ・沿岸自営漁業自立支援事業の実施 自立給付金交付(認定新規漁業者) 1名	○	△	○	○地元漁船の維持・存続 (1) 漁船更新支援 ・沖合底曳網漁業、まき網漁業、定置網漁業 (2) 担い手対策 ・若者漁業者確保支援事業の実施 ・U・Iターン漁業研修事業の実施 ・沿岸自営漁業自立支援事業の実施 ・自立給付金交付(認定新規漁業者)
			○地元外漁船の誘致 (1) 外来船の誘致 ①JF・市議会と連携した誘致活動 ⇒浜田漁港水揚高確保緊急対策入港奨励金 (7/6～)	○		○地元外漁船の誘致 (1) 入港促進補助事業の実施 (2) JF・市議会と連携した誘致活動	○	△	○地元外漁船の誘致 (1) 入港促進補助事業の実施 (2) JF・市議会と連携した誘致活動 大・中型まき網漁業経営体訪問(7月、8月) ・愛媛県(7月)、長崎県(8月)	○	○	○	○地元外漁船の誘致 (1) 入港促進補助事業の実施 ・いか釣り漁船入港促進事業補助金 ・まき網漁船入港促進事業補助金 (2) JF・市議会と連携した誘致活動 ・まき網漁業経営体への訪問

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【産業経済部観光交流課】

No.	項目	目的・目標	令和3年度	評価	総合評価	令和4年度	評価	総合評価	令和5年度	評価	総合評価	令和6年度
22	石見神楽振興事業	2020東京オリンピック・パラリンピックにおける東京での神楽上演（令和3年度以降）	○2020東京オリンピック・パラリンピック期間中における東京での上演 (1) 島根県が企画する公演での神楽上演 ・文化庁の日本遺産関連の補助金を活用して実施予定 都内での公演は実施できなかったが、沖縄公演(12月18～19日)、秋田上演(3月18～19日)の実施。		○							
			実施した内容 ○「石見神楽」日本遺産認定 (1) 石見観光振興協議会を実施主体とした・地域活性化計画の実施 (2) 市単独の神楽衣裳等新調の補助制度の実施 ・申請受付(5月10日〆切) ・選定委員会及び交付決定(5月21日) ⇒13団体から申請受付、採択(9件) ○浜田市独自の企画による上演 (1) 石見神楽国立劇場公演(令和4年7月31日開催) ⇒劇場手配予約申込済み(令和2年12月) ⇒3/26～27 リハーサル実施 実行委員会において事業中	○	○	実施した内容 ○関東・関西など県外での認知度向上 (1) 石見神楽国立劇場公演 開催日: 7月31日(日) 来場者数: 約2,000人 (2) 令和5年度以降の関東圏での上演検討 (3) 大阪・関西万博に向けた取組 ・首長連合への参加 ・大阪での上演 開催日: 9月4日(日) 昼夜2回公演 会場: ビルボードライブ大阪 来場者数: 延べ約340人 (4) 広島広島都市圏との連携 神楽の日: 9月23日～25日 会場: 広島駅南口エールエール地下広場 来場者数: 延べ約2,600人	○	○	実施した内容 ○関東・関西など県外での認知度向上 (1) 石見神楽富岡八幡宮上演 開催日: 8月13日(日) 来場者数: 約2,000人 (2) 大阪・関西万博に向けた取組 ・首長連合との連携 ・大阪御堂筋ランウェイでの石見神楽上演 開催日: 11月3日(金・祝) イベント来場者数: 約30万人 (3) 広島広島都市圏との連携 神楽の日: 12月2日(土)、3日(日) 会場: 広島駅南口エールエール地下広場 来場者数: 約5,600人	○	○	計画 ○関東・関西など県外での認知度向上 (1) 石見神楽富岡八幡宮上演 開催日: 8月11日(日) (2) 大阪・関西万博に向けた取組 ・関西公演 (3) 広島広島都市圏との連携
						○石見神楽を軸にしたインバウンド対策 (1) 浜田市と島根県立大学の共同研究事業 ・海外向け動画の研究 ・外国人向け石見神楽ワークショップ(7月31日) 22名参加(9か国) ・浜田の夜神楽のYouTube配信(8月13日、9月24日、10月29日、11月26日)		○	○石見神楽を軸にしたインバウンド対策 大阪・関西万博を契機としたインバウンド需要を見据えたプロモーション活動 ・神楽産業モニターツアーの実施 9月24日、11月26日、12月10日、1月20日～21日 高付加価値ツアーの実施 ・浜田石見神楽オールインクルーシブツアー 1月14日		○	○石見神楽を軸にしたインバウンド対策 大阪・関西万博を契機としたインバウンド需要を見据えた取組 ・観光協会や旅行会社と連携した神楽産業ツアーの実施及び販路開拓 ・演目紹介動画の作成
						○市単独の神楽衣裳等新調の補助制度の実施 ・申請受付(5月11日締切)⇒申請7団体 ・選定委員会(5月29日)⇒採択7団体		○	○市単独の神楽衣裳等新調の補助制度の実施 ・申請受付(5月8日締切)⇒申請7団体 ・選定委員会(5月21日)⇒採択7団体		○	○市単独の神楽衣裳等新調の補助制度の実施 ・申請受付(4月30日締切)⇒申請12団体 ・選定委員会(5月19日)⇒採択12団体

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
23	クルーズ船対策	浜田港に定期入港するクルーズ客船の増加	実施した内容		実施した内容		実施した内容		計画	
			○クルーズ船寄港おもてなし (1)乗客、クルーズへのおもてなし対応 ・クルーズ客船受入推進ワーキンググループでおもてなしの実施場所や内容を検討 ・7/25(日) 飛鳥Ⅱ入港予定 ⇒新型コロナウイルスの影響により寄港中止 新型コロナウイルスの影響により、令和2年度のクルーズ客船の寄港は全て中止。今後については、クルーズ船の感染防止対策の実施状況やクルーズ船へのニーズを踏まえ、再検討。		×		実施した内容		計画	
			○クルーズ客船誘致 (1)船社へのセールスを実施 ・県と旅行会社等の関係機関と連携実施 (2)クルーズ客船のオプションルツアーの商品提案 ⇒寄港地立寄マップの作成		× △		新型コロナの状況を見ながら事業実施		浜田港振興会と連携して事業実施	
									浜田港振興会と連携して事業実施	

No.	項目	目的・目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
24	交流人口増加のための個人来訪者向け施策の展開	外国人観光客の増加	実施した内容		実施した内容		実施した内容		計画	
			○石見神楽を活用したインバウンド対策 (1)浜田市と島根県立大学の共同研究事業 ・石見神楽の魅力を効果的に伝えるインバウンド動画の検証 ※インバウンド誘客については、新型コロナウイルスの状況を見て具体的な取組を検討 ⇒夜神楽定期公演の海外向けWebコンテンツ化。 県立大学と観光協会の連携調整 令和3年度は、日本語ベースでのコンテンツづくりに注力した。今後、他言語に変換する作業に移行の予定 (2)経済産業省発インバウンド対策サイト ・「FIND47.jp」へ浜田市の写真を掲載 令和3年9月掲載(目標3件) ⇒3件掲載 石見神楽振興事業の項目へ移行		△ △ ○		○アフターコロナを見据えた市内イベント推進体制の構築 ・持続可能なイベント体制構築 ・既存イベントの日程等の見直しの働きかけ ・イベント等情報の集約と周知の徹底		○アフターコロナを見据えた市内イベント推進体制の構築 ・持続可能なイベント体制構築 ・既存イベントの日程等の見直しの働きかけ ・イベント等情報の集約と周知の徹底	
		個人来訪者や合宿等の増加	項目なし		○合宿等の増加 ・補助金要綱の見直しによる利便性向上 ・営業活動活動の強化 目標:3,400泊 実績:2,896泊(対前年+1,629泊)		○合宿等の増加 ・広島大学の大学への誘致訪問(5校) 目標:3,400泊 実績:1,779泊(3月4日時点)		○合宿等の増加	

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【都市建設部建設企画課・建設整備課・維持管理課】

No.	項目	目的・目標		令和3年度		評価	総合評価	令和4年度		評価	総合評価	令和5年度		評価	総合評価	令和6年度	
25	充実した都市基盤の整備	浜田駅周辺整備(令和6年度)	実施した内容	○浜田駅周辺整備 (1)南北道路整備 ・関係機関との協議 ・道路工事(継続) ・用地買収及び移転補償 ・JR施設工事着手 ⇒道路工事については、踏切北側はほぼ完成した。 また、JR施設工事については、予定工事費が増額となり、予算措置に期間を要したため、年度内の着工にならなかった。(3月契約)		△	実施した内容	○浜田駅周辺整備 (1)南北道路整備 ・関係機関との協議 JR工事施工ヤード調整 ⇒調整完了 ・道路工事(継続) ⇒道路工事 令和5年3月契約完了 ・用地買収及び移転補償 ⇒用地買収 契約完了 ⇒移転補償 一部完了 ・JR施設工事着手 9月資材搬入、工事開始 ⇒令和5年1月資材搬入、工事開始		△	実施した内容	○浜田駅周辺整備 (1)南北道路整備 ・関係機関との協議 踏切周辺の下水道計画との調整 ・道路工事(継続) ローソン前道路工事 (R6.4月完了) ・用地買収及び移転補償(継続) ・JR施設工事(継続) ・供用開始:令和7年3月末		○	計画	○浜田駅周辺整備 (1)南北道路整備 ・関係機関との協議 踏切周辺の下水道計画との調整 ・道路工事(継続) ローソン前道路工事(R6.4月完了) ・移転補償(継続) ・JR施設工事(継続) ・供用開始:令和7年3月末	
		項目なし				○周布橋整備 (1)周布橋の建設 ・設計(3月完了) ・被災橋撤去(橋脚、桁撤去 3月完了)			○	○周布橋整備 (1)周布橋の建設 ・橋台撤去 ・橋脚、橋台(一部) 工事 ・供用開始:令和7年12月末			○	○周布橋整備 (1)周布橋の建設 ・橋脚、橋台(一部) 工事 ・供用開始:令和7年12月末 ・橋梁上部工(一部) 工事			
		項目なし				○市役所周辺整備 (1)関係機関協議、要望 ・公共施設最適利用検討会(庁内)の開催 ⇒事務局会議を実施(4/21・2/5) ・国公有財産最適利用連絡会 (財務省中国財務局、松江財務事務所、中国地方整備局営繕部、浜田市)の開催 ⇒4/22、2/6 計2回実施 次回(5月下旬開催予定)			△	○市役所周辺整備 (1)関係機関協議、要望 ・公共施設最適利用検討会(庁内)の開催 ⇒事務局会議を実施(12/20) ・国公有財産最適利用連絡会 (財務省中国財務局、松江財務事務所、中国地方整備局営繕部、浜田市)の開催 12/25(月)開催			△	○市役所周辺整備 (1)関係機関協議、要望 ・公共施設最適利用検討会(庁内)の開催 (下記連絡会前後に開催予定) ・国公有財産最適利用連絡会 (財務省中国財務局、松江財務事務所、中国地方整備局営繕部、浜田市)の開催 (次回開催日未定)			
		公園整備基本方針の策定(令和5年3月)		項目なし				○公園整備基本方針の策定 (1)基本情報の整理 ①所在地、所管課、施設概要等の把握 (7月) ⇒基礎調査(9月) ②マップ、一覧表の整理(11月) (2)現状分析と課題の整理 ①地元要望等の整理(11月) ②課題の整理(12月) ⇒現状分析と課題の整理(12月) (3)基本方針の策定 ①基本方針の策定(3月)	△	○		基本方針に基づいた事業実施					

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【上下水道部工務課】

No.	項目	目的・目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
26	基幹管路の更新及び耐震化	基幹管路の更新及び耐震化	○ △	△	○ △	△	○ △	△	○ △	△
			実施した内容		実施した内容		計画		計画	
			○基幹管路の更新及び耐震化 (1)更新計画に基づく事業実施 ①管路更新工事情報の見える化 ・工事情報をホームページに公表 ⇒6月以降随時公表 (2)更新及び耐震化の推進 ・工事発注(6月～) ⇒約2kmの管路更新を実施 6件の工事の内2件が年度内完了出来ず次年度への繰越しとなった		○基幹管路の更新及び耐震化 (1)更新計画に基づく事業実施 ①管路更新工事情報の見える化 ・工事情報をホームページに公表 ⇒6月以降随時公表 ②更新及び耐震化の推進 ・工事発注(7月) 6月…工事1件契約 7月…工事1件契約 8月…工事2件契約 ※工事2件の繰越手続き済 ⇒約1kmの更新工事を実施 4件の工事の内2件が年度内完了出来ず次年度への繰越しとなった		○基幹管路の更新及び耐震化 (1)更新計画に基づく事業実施 ①管路更新工事情報の見える化 ・工事情報をホームページに公表 ⇒5月以降随時公表 ②更新及び耐震化の推進 ・工事発注(6月) 5月…工事1件契約 6月…工事1件契約 7月…工事1件、業務委託1件契約 ※工事1件、業務委託1件の繰越手続き済 ⇒約1kmの更新工事を実施 3件の工事の内1件と業務委託1件が年度内完了出来ず次年度への繰越しとなった		○基幹管路の更新及び耐震化 (1)更新計画に基づく事業実施 ①管路更新工事情報の見える化 ・工事情報をホームページに公表 ⇒5月中公表 ②更新及び耐震化の推進 ・令和5年3月に追加要望発注 3月…工事契約2件、業務契約2件	

No.	項目	目的・目標	令和3年度	評価	総合評価	令和4年度	評価	総合評価	令和5年度	評価	総合評価	令和6年度
27	寒波による断水対策の実施	寒波による断水原因の調査及び断水を起こさないための対策実施	実施した内容	○	○	実施した内容	○	○	計画			画
				○			○			寒波による断水対策の継続実施		
				○			○					

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【上下水道部下水道課】

No.	項目	目的・目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
28	市街地 下水道 整備	○第1期 工事区 域の工 事完了 (令和9 年度)	実施した内容	○ △ ○	実施した内容	△ ○ ○	実施した内容	○ ○ ○	計画	○ ○
28	市街地 下水道 整備	○第1期 工事区 域の工 事完了 (令和9 年度)	実施した内容	○ △ ○	実施した内容	△ ○ ○	実施した内容	○ ○ ○	計画	○ ○
28	市街地 下水道 整備	○第1期 工事区 域の工 事完了 (令和9 年度)	実施した内容	○ △ ○	実施した内容	△ ○ ○	実施した内容	○ ○ ○	計画	○ ○
28	市街地 下水道 整備	○第1期 工事区 域の工 事完了 (令和9 年度)	実施した内容	○ △ ○	実施した内容	△ ○ ○	実施した内容	○ ○ ○	計画	○ ○

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【金城支所産業建設課・市民福祉課】

No.	項目	目的・目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
29	農業振興	農業振興	△	△	△	△	○	○	○	○
実施した内容			○農業振興 (1)大粒ぶどうの産地拡大 ・リースハウス事業を活用した作付面積拡大 1件 1,000平方メートル ⇒ 計画の延期 金城地区 2戸 451a(うちリースハウス145a) (2)その他農業振興 ・農福連携の検討 ・耕作放棄地対策と有害鳥獣対策 ⇒集落ぐるみの有害鳥獣対策 検討会開催9件、モデル集落認定数10件		○農業振興 (1)大粒ぶどうの産地拡大 ・リースハウス事業を活用した作付面積拡大 ビオーネ離農者と作付者のマッチング 13a (2)その他農業振興 ・耕作放棄地対策と有害鳥獣対策 集落ぐるみの有害鳥獣対策 楽天農業と地域との橋渡し 説明会開催 2回 楽天へ面積提示 810a→合意 760a		○農業振興 (1)農地保全と耕作放棄地防止対策 ・楽天農業と地域との橋渡し 7.6ha (2)ビオーネの産地振興 9/2ビオーネまつり開催 出荷数量 22.1t 出荷額 38,953千円 (3)有害鳥獣対策 モデル集落数 10集落		○農業振興 (1)農地保全と耕作放棄地防止対策 ・中山間地域直接支払制度 次期対策への取組 (2)ビオーネの産地振興 ビオーネまつり開催 (3)新開団地 矯正施設刑務作業関係の法務省との協議	

No.	項目	目的・目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
30	観光交流	美肌観光の推進	△	△	○	○	○	○	○	○
実施した内容			○観光交流 (1)美又温泉振興 ・保養センターR4-R8指定管理 公募・決定 ⇒令和4年度は現在の指定管理者 へ指定管理を委託。 ・医学的調査結果を活用した誘客 (湯治など) ・美又新ブランド「やちよ料理」の推進 ・美又温泉会館の改修 ・美又温泉4号井タンク更新 ・温泉総選挙2021「うる肌部門」1位 獲得 ・利用実績 ※1/22～2/20休館 入浴者数 35,865人 レストラン 6,281人 宿泊者数 407人 (2)その他観光振興 ・きんたの里R4-R8指定管理公募・決定 ・「チームかなぎ」による情報共有、誘客 企画 ・島根県と連携した美肌観光の推進 ・ホースセラピーの推進と誘客 ・おもてなし研修の実施 ・新型コロナウイルス対策等の取組		○観光交流 (1)美肌観光の推進 ・美肌観光による誘客推進 ・美肌商品の開発推進 ・おもてなし研修の実施 ・プロポーザルにより委託業者を決定 (2)美又温泉振興 ・保養センターR5-R7指定管理公募・決定 利用実績 入浴者数 46,591人 レストラン 7,572人 宿泊者数 495人 ・新型コロナウイルス対策等 ・美肌県しまね推進事業を活用した取組 (旅館組合) メニュー開発、旅行商品造成、PR活動 ・全国旅行支援への取組 ・温泉総選挙2022 「うる肌部門」第2位、環境大臣賞受賞 ・観光庁事業・地域一体となった観光地・ 観光産業の再生・高付加価値化事業 へ応募予定		○美又温泉の振興 (1)外湯の整備 ・基本構想の策定 ・整備計画の立案 プロポーザル公募開始R5.6～ プロポーザル選定業者との契約 (2)官民一体となった美又温泉の再生 ・観光庁事業の導入 5月採択(6施設)うち金城5、旭1 6月補正済 廃屋撤去事業着手(発注作業) ・美肌観光推進事業の推進 ・温泉総選挙2023の取組 リアル投票9/16～ うる肌部門1位獲得 特別賞受賞		○美又温泉の振興 (1)外湯の整備 ・プロポーザル公募開始 ・詳細設計 ・保養センターを含む全体整備計画策定 (2)官民一体となった美又温泉の再生 ・美肌観光推進事業の推進 ・温泉総選挙2024の取組	

No.	項目	目的・目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
31	公害対応	臭気の軽減	△	△	△	△	△	△	△	△
実施した内容			○公害対応 (1)臭気対策の検討・方針決定 ・臭気原因特定 ・臭気対策検討 ・支援方針・内容の検討 畜産事業者との協議(4～3月) 畜産臭気対策検討会議(随時) 市内事業者によるバイオマス発電 設備の導入支援		○公害対応 (1)臭気の低減 ・家畜排泄物を利用したバイオマス発電 設備導入に係る事業者支援 市内事業者への県補助金にかかる 情報提供及び申請支援(4～6月) 養豚事業者との面談及び現地調査の 調整面談(6/3、8/18、2/1) 現地調査(2/17)		○公害対応 (1)臭気の低減 ・家畜排泄物を利用したバイオマス発電 設備導入に係る事業者支援の検討 市内事業者の設備導入に係る進捗把握 (随時) 補助金活用に係る県との協議(6/5) 市内事業者と養豚事業者との連絡調整 (随時)		○公害対応 (1)臭気の低減 ・家畜排泄物を利用したバイオマス発電 設備導入に係る事業者支援の検討 市内事業者の設備導入に係る進捗把握 (随時) 補助金活用に係る関係機関との検討協議 (適宜) 市内事業者と養豚事業者との連絡調整 (随時)	

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【旭支所産業建設課】

No.	項目	目的・目標	令和3年度	評価	総合評価	令和4年度	評価	総合評価	令和5年度	評価	総合評価	令和6年度	
32	農業の振興	農地の保全	○農地の保全 (1)地域内農地保全の持続化 ①地区単位での継続協議支援 ・農地利用状況の協議のため、集落への基盤整備事業調査結果のフィードバックを実施(3月) ②地域独自基盤整備事業実施農地のフォローアップ(11月) (耐久性畦畔・畦畔除草省力化・耕作道舗装等) ・耕作道舗装実施農地の利用状況調査(11月) ③農地管理マスターデータの整理 (2)中山間直払活用に向けた支援 ①広域集落協定未実施地区の設立支援 ・市木広域集落協定の設立(6月)	○	○	○農地の保全 (1)地域内農地保全の持続化 ①地域独自基盤整備事業実施農地のフォローアップ ・耐久性畦畔・畦畔除草省力化等実施農地の利用状況調査 ⇒耐久性畦畔実施農地のリストアップ ⇒現地調査実施中 ⇒調査結果の取りまとめ(3月) ②地区単位での継続協議支援 ・利用状況調査のフィードバック (2)中山間直払活用に向けた支援 ①集落協定の広域化支援 ・まちづくりセンター単位での広域化推進 ⇒広域化未実施地区との協議実施	△	△	○農地の保全 (1)地域内農地保全の持続化 ①地域独自基盤整備事業実施農地のフォローアップ ・畦畔除草省力化実施農地の利用状況調査 ⇒調査結果取りまとめ、各集落へフィードバック ②地区単位での継続協議支援 ・将来の農地利用を明確化する地域計画を支援 ⇒農家アンケートの実施、とりまとめ(9月) ③農村と地域づくりとの連携 ・農村RMOの活用(和田モデル地域) ・地域おこし協力隊と地域住民との連携 地域おこし協力隊員の採用(8月～) (2)中山間直払活用に向けた支援 ①集落協定の広域化支援 ・まちづくりセンター単位での広域化推進 都川地区への説明会実施(7月) 広域での事業実施に向けた協議(12月) ⇒令和6年度からの事業実施が決定 ②農地保全によるまちづくり ・先進的取組への支援、情報共有	○	○	計画	○農地の保全 (1)地域内農地保全の持続化 ①地域単位での地域計画作成支援 ・人・農地プランのローリング ②地域独自基盤整備事業実施農地のフォローアップ ・営農体制の持続化(管理・維持)支援 ③農村と地域づくりとの連携 ・農村RMOの活用(和田モデル地域) ・地域おこし協力隊と地域住民との連携 (2)中山間直払活用に向けた支援 ①日本型直払制度の推進 ・第6期対策に向けた取組 ・多面的機能支払交付金未実施地区の解消 ・環境保全型農業直接支払交付金の取組に向けた支援 ②農地保全によるまちづくり ・先進的取組への支援、情報共有
		山ノ内梨園の再生	○山ノ内梨園再生に向けた支援 (1)農地利用の促進 ①人・農地プランの協議・策定(3月) ⇒策定については、来年度に持ち越しとなった。 ・遊休農地活用への検討協議 ・担い手確保への検討協議 ⇒農家アンケート及びフィードバックの実施(3月)		△	○山ノ内梨園再生に向けた支援 (1)農地利用の促進 ①人・農地プランの策定協議 ⇒策定に向けた農家との協議(2月) ⇒プランの策定、実質化(3月) ・遊休農地活用への検討協議 ②担い手確保の検討 ・担い手受入体制の検討 ・企業参入に向けた提案		○	○山ノ内梨園再生に向けた支援 (1)遊休農地利活用方法の検討 ①利活用検討準備会の立ち上げ(～5月) ・生産者との協議 ・関係機関(県、JA等)との協議 ②利活用検討会での検討(6月～) ・ほ場に適した栽培作物の検討 ・振興作物栽培の適否の検討 第1回検討会の開催(6月) 振興作物栽培の適否を県と調査 ⇒大粒ぶどうの経営シミュレーション、就農モデル検討 ⇒大粒ぶどう栽培の適地ではない ・第2回検討会の開催(12月) ⇒有機野菜作付による利活用 ③市有農用地利活用方法の検討 ・空きほ場への入植者公募 ⇒空きほ場所有者への意向調査実施済 ⇒楽天農業の入植を目指し交渉中		○		○山ノ内梨園再生に向けた支援 (1)遊休農地利用の促進 ①担い手確保と参入支援 ・有機野菜の露地栽培への取組 ②梨産地の振興 ・生産者及び普及指導員との連携 ・農業用水利施設更新の検討

No.	項目	目的・目標	令和3年度	評価	総合評価	令和4年度	評価	総合評価	令和5年度	評価	総合評価	令和6年度
33	観光交流	旭温泉の活性化	実施した内容 ○旭温泉の活性化 (1)集客に向けた取組への支援 ①温泉PRプロジェクトの支援 ・PR商品の作成支援 ⇒旭温泉すっぽん塩の完成、販売開始(7月) ②口コミ度アップ対策 ・温泉組合HPのリニューアル実施 ⇒すっぽん塩PRページの作成(7月)		○	実施した内容 ○旭温泉の活性化 (1)集客に向けた取組への支援 ①魅力ある温泉地づくり ・若手従業員との意見交換会の実施(7月) →商品開発(温泉の素)、HPリニューアルの方向性決定 ・地域の特色を活かした滞在プランの作成 ・広島PRセンター等と連携したニーズ調査の実施 ⇒各施設に応じたターゲットの集客協議(2月) ②効果的な情報発信の強化 ・ホームページ、SNS等活用の勉強会実施		△	実施した内容 ○旭温泉の活性化 (1)集客に向けた取組への支援 ①新規経営者との連携 ・旅館組合内の連携強化への支援 ②情報発信力強化への支援 ・温泉総選挙と連動した情報発信 温泉総選挙2023エントリーリアル投票、SNS投票 ⇒総選挙2位を記念した宿泊プラン等の検討中 ・広島PRセンターと連携した情報発信 ・ふるさと学習		○	計画 ○旭温泉の活性化 (1)集客に向けた取組への支援 ①魅力ある温泉地づくり ・温泉地との面的連携 ②情報発信力強化への支援 ・温泉総選挙2024と連動した情報発信 ・広島PRセンターと連携した情報発信 ・ふるさと郷育との連携

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【弥栄支所産業建設課】

No.	項目	目的・目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
34	観光の振興	【令和4年度まで】 ふるさと体験村の運営再開と持続可能な活動計画の策定 【令和5年度から】 ふるさと体験村の持続可能な運営に向けた支援の実施	実施した内容		実施した内容		実施した内容		計画	
			○令和4年4月の運営再開に向けた準備 (1)施設活用方針の見直し(4月) ①施設の在り方の明確化 ②活用基本計画の決定 ③条例改正の検討 ・施設の在り方、活用基本計画を決定し、条例改正を令和4年3月議会で上程	△	○令和5年4月の運営再開に向けた準備 (1)指定管理者の決定 ①仮協定の締結(5月) ⇒締結(6月9日) ⇒指定管理者の指定(6月) ⇒指定通知(7月4日) 地元のまちづくり団体「弥栄のみらい創造会議」へ指定通知	○	○指定管理者への支援 (1)自定化に向けた体制・仕組みづくり ①事業計画のブラッシュアップ ・実行組織の見直し ⇒法人設立の検討開始 ・集客の仕組みづくり ⇒事業戦略会議の実施 (初回7/10実施後、定期的に実施) ・食堂メニューの充実(そば、スイーツ) ⇒忘年会プランの実施 ・BBQ食材セットの提供(9月開始) ⇒地元農産物の品目不足により来年度の提供開始を予定 ・営業日、時間の見直し ⇒営業期間の延長、定休日の変更 1～2月のみ休業 3月1日より営業再開	△	○指定管理者への支援 (1)自定化に向けた体制・仕組みづくり ①事業計画のブラッシュアップ ・組織の法人化 ・食堂メニューの充実 ・どぶろくの復活準備 ・宿泊につなげるための割引プラン等の検討	△
			(2)管理運営体制の検討 ①地元団体の設立支援(4月) ②指定管理者の選定(9月) ③業務引継ぎ ・地元団体は設立したが、指定管理の企画検討に時間を要し、令和4年度の再開に至らなかった	△	(2)施設再稼働の準備 ①再稼働のための施設改修(6月～11月) ⇒国事業不採択に伴う財源調整及び漏水修繕追加のため延期(8月～2月) ②施設の試運転・業務引継ぎ(12月～3月) ⇒工事着工の遅れにより延期(1月～3月) 3月10日竣工検査により工事完了	○	(2)地域資源を活用した商品やサービスの開発 ①リパッケージを中心とした商品開発 ②販売戦略の検討 ⇒国事業を活用し、JR東日本企画と連携 ⇒6月19日割当内示 ⇒専門家を招聘しワークショップ 初回9/2実施後、計7回実施 ⇒来年度、地域の行事を組み合わせメニュー化 ⇒今年度、体験メニュー利用者の増加につながらなかった	△	(2)地域資源を活用した商品やサービスの開発 ①体験メニューの充実 ・国事業を活用し、JR東日本企画と連携(最終年度) ②体験カレンダーの作成 ・年間を通じたメニューの企画、PR	△
			(3)その他の再開準備等 ①指定管理業務仕様書の検討(6月～) ②施設改修費の積算(4月～) ・関連部署と連携し、完了	○	○地元団体への支援 (1)継続的な事業実施のための活動計画の策定 ①事業戦略会議による具体的計画の検討 ・ビジョンマップの作成 ・実行組織、チームの検討 ・マーチャンダイジングの設定 ⇒キックオフミーティングの開催(6月25日) ⇒事業計画策定完了(1月下旬) 3月4日成果報告会開催 ②専門家を招いての勉強会の実施 ⇒研修会の開催(6月25日)	○	(3)ターゲットを定めた広報・PR ①地域住民に対する意識醸成 ・ホームページ、SNSでの情報発信 ⇒随時更新の指導を実施 ②商品・サービスに合わせた情報発信(広島圏域) ⇒6月 関係機関・事業所等、市内・広島を中心に周知・PR ⇒宿泊と飲食を別々にPR ⇒SNS、CATV、各種情報誌のPR強化 ⇒地元広報の実施 ③その他 ・施設内看板設置 ⇒都市建設部事業(景観形成事業補助金)で実施予定 3月7日設置完了 ・町内案内看板設置 ⇒来年度中山間振興枠で実施予定	○		
					(2)地域資源を活用した商品やサービスの開発 ①商品開発会議による企画・開発 ⇒1月15日、2月18日実施予定 予定通り実施 ②体験村を拠点としたモニタリングの実施 ⇒2月19日、20日実施予定 予定通り実施 ③先進地視察の実施 ⇒2月中旬実施予定 1月31日～2月1日実施	○				
					(3)ターゲットを定めた広報・PR ①地域住民に対する意識醸成(地域内) ②開発した商品・サービスに合わせた情報発信(地域外) ⇒ホームページ立上げ、予約受付開始(3月) 3月3日ホームページ立上げ 4月1日予約受付開始	△				

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
35	農業振興	農業最適化	実施した内容	○	実施した内容	○	実施した内容	○	計画	○
			○農地を守る仕組みづくり (1)集落営農組織の推進 ①広域管理組織の構築 ・令和4年度からの一本化に向けた支援 ・営農計画の検討 ・作業体制の検討 ・設立解散の事務手続き ⇒一本化に向けた協議に時間を要し、年度内の合併に至らなかった ②集落毎の人・農地プランの作成 ・集落での話し合い支援(集落巡回) ※対象23集落 ・管理すべき農地の明確化及び管理方法の検討 ⇒新型コロナの影響で集落の話し合いが出来なかった4集落を除いては、プランを作成した (2)圃場整備事業との連動 ・高収益作物導入品目の絞込み(担い手の経営安定に繋がる品目) ⇒有機野菜の推進等により絞込みを行った (3)農作業の省力化 ①センチビードグラスの推進 ・研修会の実施(6月23日に開催) ⇒他地域への取組拡大が進んだ ②ドローン共同防除の推進 ・研修会の実施 ⇒研修会は実施出来なかったが、他地域への取組拡大の検討が進んだ ③除草ロボットの運用 ・オベの育成 ・要望調査の実施 ・運用開始(9月) ⇒試行的に運用を開始した (4)捕獲した有害鳥獣の有効活用 ①全市的な搬入確認受入に向けた試行 ・受入地区・受入時期・受入体制を限定して実施 ⇒モデル集落として実施した。今後、実施内容を他集落へ共有し取組拡大を促す	△	○農地を守る仕組みづくり (1)集落営農組織の推進 ①農事組合法人の合併 ・営農計画の検討 ・作業体制の検討 ・解散、設立の事務手続き ⇒11月合併予定 11月1日設立登記予定 11月19日(土)設立総会開催 ②集落毎の人・農地プランの作成 ・集落での話し合い支援(集落巡回の実施) ・プラン実質化が完了した集落も定期的に巡回 ・管理すべき農地の明確化及び管理体制等の検討 ⇒11月16日より開始(数年後には引退する農家が増える見込み) (2)高収益作物の導入 ①地域に合った作物の検討 ・有機作物の検討 ・圃場整備事業との連動 ・先進地視察の実施 ⇒11月9日有機露地野菜の視察実施(ハウス資材高騰により今後は露地の方向へ) ⇒11月29日圃場整備、有機米の視察実施(栽培面積が減少しても、将来管理しやすい圃場とする) (3)農作業の省力化 ①センチビードグラスの吹付 ・他地域の作業受託による地域間連携による推進 ⇒横山町(約7a)、三隅町井野(約20a)で実施 ②ドローンによる共同防除 ・他地域の作業受託による地域間連携による推進 ⇒来年度も取組面積増加予定 ③除草ロボットの活用 ・事業規模拡大による作業体制の再構築 ・畦畔以外の草刈の検討 ⇒来年度も取組面積増加予定	○	○農地を守る仕組みづくり (1)地域営農の推進 ①集落巡回の実施 ・集落での話し合いの支援 ・人農地プランから「地域計画」への移行 ⇒11/27～2月まで順次実施 ②弥栄地域での施策検討 ・集落巡回での意見を集約 ・やさかむら集落営農組織連携協議会を中心に施策の検討 ⇒来年度から担い手等の農地集約化に取り組む (2)高収益作物の導入 ①地域に合った作物の検討 ・圃場整備事業推進協議会及び地域の担い手で品目の決定 ⇒安城地区:有機ニンジン ⇒杵束地区:有機ポップコーン ・楽天農業との連携による試験栽培の実施(ブロッコリー等) ⇒複数農家で有機ブロッコリーを栽培 ⇒今後、露地の有機栽培が拡大 (3)農作業の省力化 農家の高齢化・減少に伴う労働力不足 ①草刈対策の実施 (センチビードグラス吹付、草刈ロボット) ・地域間連携による推進(実施場所、オベ) ⇒センチビードグラス 旭町(30a)、三隅町(11a)の実施 ②ドローン防除の実施 ・地域間連携による推進(実施場所、オベ) ⇒金城町(202a)、美都町(55a)の実施 ③作業受託先の確保 ・合併法人((農)DreamAgri)が受託を検討 ・受託に必要な機械の導入検討 ⇒作業受託よりも預けたい意向が多い ⇒今後、担い手の雇用確保につながる取組を推進	○	○農地を守る仕組みづくり (1)地域営農の推進 ①集落巡回の実施 ・集落での話し合いの支援 ・集落毎に地域計画の作成 ②担い手等の農地集約化 ・担い手側(農地の借手)の話し合い ・地域側(農地の貸手)の話し合い ・双方の意見をマッチング ③担い手の雇用確保 ・新農業人フェア等でのPR ・就農者の住居確保 (2)特定地域づくり事業協同組合の設立 地域の特色を活かした「有機」の組合 ①地域おこし協力隊の活用 ・仕事の掘り起こし ・受入企業等ニーズ調査 組合設立事務 ⇒4月末時点で応募なし ②設立スケジュール ・6月 発起人決定 ・7～12月 発起人会 ・1月 設立総会 ・2月 設立認可 ・3月 組合認定、派遣事業届出 ・R7～ 事業開始	○

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【三隅支所防災自治課・産業建設課】

No.	項目	目的・目標	令和3年度	評価	総合評価	令和4年度	評価	総合評価	令和5年度	評価	総合評価	令和6年度
36	産業振興	石州和紙会館の新体制構築	○石州和紙の振興 (1)石州和紙会館の管理・運営体制 ・再度指定管理に向けた施設管理・運営体制の検討、協議 ⇒施設の特性を考慮し、指名による指定管理とする方針を決定(令和5年4月)		○	○石州和紙の振興 (1)石州和紙会館の管理・運営体制 ・再度指定管理に向けた準備 ⇒6/14庁内審査会にて指摘事項なし。 今後、仮協定に向け協議を進める。 ⇒12月定例会議へ指定議案を提出予定 ⇒仮協定を締結。12月定例会議に議案提出。 ⇒12月定例会議において可決。令和5年4月1日から指定管理開始。		○	指定管理者による管理運営			
		楮の生産量増加	○楮栽培の産業化の調査・検討 (1)新規楮栽培者の確保 ・新規栽培者1名(栽培面積14a)を確保 (2)楮栽培、加工等の技術研修実施 ・楮収穫・出荷作業研修会実施(11月) ・楮植栽研修会実施(3月) ・和紙事業者年間必要量 23,701kgに対し、楮生産量が25,523kgとなった。	△	○	○楮栽培・加工技術の向上 (1)研修会の実施 10/20 出荷作業研修会 11名 (2)生産量確保 ・R4 新規栽培者 1名 29a ・和紙事業者年間必要量 24,328kgに対し、楮生産量が30,748kgとなった。	○	○	○楮生産の拡大と事業化の検討 (1)生産量確保 ・新規栽培者1名(栽培面積10a)を確保 (2)加工販売の検討 ・加工作業の研修会(12月) ・作業工程の確認による収支の試算と事業者要望ヒアリングを実施。 ⇒加工施設・人員の確保の必要がある。また現在の楮生産量では他産地への販売量は確保できない	△	△	○楮生産の拡大と加工作業サポート体制の構築 (1)生産量確保 (2)加工作業サポート体制 ・加工作業の研修会
		収穫形態の多様化による西条柿の生産性向上	項目なし			○西条柿振興 (1)人・農地プランの作成 (2)栽培サポート体制の見直し ⇒農福連携等(サボステ浜田) ①摘らい・摘果 期間 : 5/13~6/17(土日を除く28日間) 人数 : 4名(男性3名、女性1名) 受入農家 : 3軒 ⇒受入農家において、1名雇用 ②収穫作業の実施を計画 期間 : 10/11~11/25(土日祝を除く) 人数 : 1名(男性) 受入農家 : 1軒 ⇒収穫ボランティア 18名(10/9~11/20) 延べ58回 JA出荷量(三隅地区分) 80.8t	○	○	○西条柿振興 (1)栽培サポート体制の見直し ・摘果ボランティア 期間 : 7/8~8/31 人数 : 3名(延べ13回) 受入農家 : 2軒 ・収穫ボランティア 9月広報で募集 浜田応援団(県内・広島エリア)に周知 期間 : 10/20~11/15 人数 : 9名(延べ36回) 受入農家 : 4軒 JA出荷量(三隅地区分) 79.2t		○	○西条柿振興 (1)栽培サポート体制の構築 ・摘果ボランティア 期間 : 5/11~5月末 人数 : 4名 受入農家 : 1軒 ・摘果ボランティア ・草刈ボランティア ・収穫ボランティア

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【教育部学校教育課】

No.	項目	目的・目標	令和3年度		評価	総合評価	令和4年度		評価	総合評価	令和5年度		評価	総合評価	令和6年度	
37	【令和4年度まで】 高校魅力化コンソーシアム 【令和5年度から】 市内高等学校の魅力化支援について	魅力ある学びによる人づくり及び取組による地域活性化	実施した内容	○高校の魅力化推進 (1)HAMADA教育魅力化コンソーシアムの運営 ・役員会の開催(5/13、11/12) →令和3年度の事業計画の決定、中間報告 ・人材バンクの設置及び関係者との調整 →11月に設置、12月に募集開始 ・学校と地域の協働事業のコーディネート ・令和4年度以降の事業検討 →実践者からの指導、助言(10回) →令和4年度事業計画の策定	○	○	実施した内容	○高校の魅力化推進 (1)HAMADA教育魅力化コンソーシアム運営 ・役員会の開催 (年度内に1～2回実施予定) 5/30(第1回)、11/17(第2回) ・地域協働マッチングシステムの促進 (3.31現在 活動した高校生数33人) ・HAMADA教育魅力化パートナーバンクの運営 (3.31現在 登録者:26人) ・教育課程外の高校生の探究活動の促進 ①高校生を募集して探究学習のワークショップを開催 ⇒ 7/23高校生14人参加 8/6 高校生4人参加 活動様子をまとめたレポート発行 ②ふるさと歴史探究プロジェクト 浜田城資料館の高校生学芸員12人を委嘱 (R5.6月～9月の特別展示にて成果発表) ・卒業生ネットワークの構築 (3.31現在 登録者:12人) ・HAMADA教育魅力化フェスタの開催 (R5.2.5 いわみーる体育館)	○	○	実施した内容	○高校生を主体とした市内高校の魅力化 (1)HAMADA教育魅力化コンソーシアムによる高校生の支援 ・高校が地域と連携して行う探究学習の支援 6/10～9/24浜田城資料館高校生学芸員特別展お披露目式 30人参加 7月の浜っ子タイムズでPR ・魅力化コーディネーターによる高校生への支援 -地域活動参画への支援 地域協働マッチングシステムの促進 (3.31現在 活動した高校生数84人) 魅力化コーディネーターによる個別相談 -活動成果を進学に活かす支援 8/6 地域系部活動の交流会実施 高校生9人参加 11/10・11 地域系部活動として三隅フェスティバルに出展 高校生13人参加 ・HAMADA教育魅力化フェスタの開催 (R5.12.17 県立大学体育館)	○	△	計画	○高校生を主体とした市内高校の魅力化 (1)HAMADA教育魅力化コンソーシアムによる高校生の支援 ・高校が地域と連携して行う探究学習の支援 ・魅力化コーディネーターによる高校生への支援 -地域活動参画への支援 地域協働マッチングシステムの促進 魅力化コーディネーターによる個別相談 -活動成果を進学に活かす支援 (2)市内高校への進学増のための支援 ・各高校の教育活動の内容や成果に関する情報の発信 ・高校や高校生を支援する活動を行う団体との意見交換や協議 (各学校の学校運営協議会に出席)
				○市の独自支援策の検討 ・中学校への訪問(ヒアリング実施) (6/7～6/10) ・市内高等学校への進学状況の分析・課題抽出 →中学生、保護者アンケート実施(9月) →調査結果報告書(11月) ・独自の支援策の検討 →浜田高校との意見交換実施(9/21、12/15) →令和4年度 魅力化コーディネーター1名増	○			○市独自の支援策の検討 ・アンケート調査結果に基づく、高校や中学校との意見交換 ※令和4年度 魅力化コーディネーター1名増員 ・10/12 理数科生徒確保に関する協議 (岡田教育長、志波校長外) ・理数科の推薦入試、理数科での学びのメリットを伝えるチラシを作成(魅力化CN) し、中学校と中学生に配布 (11/5 浜高オープンキャンパスや中学校長会)	○			△	△			